



Web-tap / Web-tap

ユーザガイド



富士通コワーコ株式会社

Windows98 / 95、WindowsNT、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

NetWareは、米国Novell,Inc. の登録商標です。

Netscape Communicator,Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java および全ての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc の商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の登録商標です。

その他の製品名、社名は各社の登録商標または商標です。

おことわり

- (1) 本ソフトウェアおよび本書の一部または全部を、許可なく複製、転載することは、かたくお断りいたします。
- (2) 本製品の内容につきましては万全を期して検査を行っておりますが、万一、お気づきの点がございましたら、巻末お問い合わせ先までご連絡ください。
- (3) 本製品の内容は、予告なく変更される場合があります。
- (4) 本製品の運用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになって、機能を理解した上で御使用ください。本製品を使用したことによる結果につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-24-1
(西新宿三井ビルディング)
富士通コワーコ株式会社
サポートセンタ

フリーダイヤル 0120-558-017

TEL 03-3342-5490 (代表)

FAX 03-3342-5428

URL <http://www.coworco.co.jp/>

お問い合わせ受付時間

月曜日～金曜日 9:30～12:00
13:00～17:00

土曜日・日曜日・祝祭日・夏季・年末年始は休ませていただきます。
(弊社都合によりこれらの日以外にお休みをいただく場合があります。)

目次

1. はじめに	1
1.1 概要	1
1.2 Web-tap の主な機能	2
1.3 必要なシステム構成	3
1.3.1 必要なハードウェア	3
1.3.2 必要なソフトウェア	3
1.3.3 シャットダウン可能なコンピュータ	3
1.3.4 ネットワーク環境条件	3
2. Web-tap の基本動作	4
2.1 動作シーケンス	4
2.2 コンピュータのシャットダウン実行方法	11
3. 初期設定	12
3.1 Web-tap のネットワークアドレスの設定	12
3.2 接続装置の設定	19
3.2.1 PC (接点接続) の設定	19
3.2.2 WS (シリアル接続) の設定	29
3.3 UPS との接続	34
3.3.1 UPS との接続時の設定	34
3.3.2 機能試験	34
3.4 カスケード接続	36
3.4.1 カスケード接続時の設定	36
3.4.2 機能試験	37
4. Web管理ツールの操作	38
4.1 Web 管理ツールの起動	38
4.2 管理ツールのメイン画面 (システム制御画面)	41
4.3 制御	44
4.4 接続装置設定	47
4.5 基本設定	52
4.6 出力グループ設定	56
4.7 スケジュール設定	59
4.7.2 スケジュール統一	61
4.7.3 指定日スケジュール	62
4.7.4 週間スケジュール	66
4.7.5 スケジュール確認	68
4.8 SNMP 設定	69
4.9 イベント設定	71
4.9.1 WS スクリプト設定	71
4.9.2 WS スクリプト選択	73
4.9.3 WS スクリプト編集	75
4.9.4 イベントログ設定	78
4.10 イベントログ表示	80
5. Web管理ツール以外のソフトウェアを利用した管理	81
5.1 SAN GUARD システム管理ツール	81
5.1.1 概要	81
5.2 SNMP マネージャ	82

5.2.1 概要	82
5.2.2 SNMPの設定	83
5.2.3 出力の制御について	83
5.2.4 状態監視について	83
5.3 シリアル端末	84
5.3.1 概要	84
5.3.2 メインメニュー	86
5.3.3 基本設定メニュー	88
5.3.4 スケジュール設定メニュー	100
5.3.5 制御メニュー	108
5.3.6 表示メニュー	112
5.3.7 時計設定メニュー	116
5.3.8 装置接続設定メニュー	117
5.3.9 イベント設定メニュー	142
5.3.10 出力グループ情報設定メニュー	145
5.4 Telnet 端末	149
付録 A サービスの操作	150
付録 B こんな時には	152

はじめに

1. はじめに

1.1 概要

Web-tap は、出力コンセントを4個備えた Web-tap 、出力コンセント8個備えた **Web-tap** 、の2種類からなり、ネットワーク対応機能を付加した電源管理装置です。

Web-tap は、4つの出力コンセントとこれに対応した4つのシリアルポートを持ち、個別にオン/オフ/リセットの制御ができます。制御は、遠隔端末上の Web ブラウザから行えます。また、電源を切る際にシャットダウン制御が必要なコンピュータを接続することができます。

Web-tap は、ハブやルータのようにコンピュータより消費電力が小さく、かつ、シャットダウン制御の必要がないものを接続するため、出力コンセント数が8個でシリアルポートはありません。出力コンセントは、Web-tap と同様に個別にオン/オフ/リセットの制御を遠隔端末上の Web ブラウザから行えます。

1.2 Web-tap の主な機能

(1) 遠隔管理機能

Java 対応の Web ブラウザ、または、telnet 端末から、Web-tap を管理できます。また、各出力コンセントの状態を確認することもできます。そのため、Web-tap まで足を運ぶ必要がありません。以下に示す作業および関連する設定は、全て遠隔から実行できます。

また、Web-tap はネットワークからのアクセスに対して**ユーザ名**および**パスワード**で認証を行ないますので、不正なアクセスを防止できます。

(2) 遠隔制御機能

接続装置の異常によるリポートや、緊急の場合などに、手で出力コンセントのオン/オフを遠隔から行なうことができます。(Web-tap では、接続中のコンピュータを出力コンセント・オフする前に自動シャットダウン処理を行います)

(3) コンピュータの自動シャットダウン機能 (Web-tap のみ)

Web-tap の出力コンセントから電力供給を受けているコンピュータに対し、出力コンセントをオフする場合、コンピュータも自動的にシャットダウンし安全に停止することができます。シャットダウンできるコンピュータは Windows 95/98/NT/2000、NetWare および Unix が対象となります。

Windows95/98 シャットダウンには、別途ソフトウェアが必要です。

本書では Windows 95/98/NT/2000、NetWare が動作しているコンピュータを「 PC 」、Unix コンピュータを「 WS 」と呼んで区別します。両方を指す場合は、単に「コンピュータ」と呼びます。

(4) UPS 連携機能

Web-tap を UPS と接続すると、停電発生、バッテリー電圧低下の情報を受け、接続装置の出力コンセントをオフします。また、全ての出力コンセントがオフした後に、UPS の出力をオフ、UPS のバッテリー保護を行えます。(Web-tap では、コンピュータの自動シャットダウンをおこないません)

(5) スケジュール運転機能

出力コンセント毎にオン/オフ/リセットのスケジュールを設定することにより、各出力コンセントのオン/オフ/リセットを自動的に行なうことができます。

(Web-tap では、接続コンピュータの自動シャットダウン機能が利用できます)

(6) 出力グループ管理機能

複数の出力コンセントをグループ化することにより、出力コンセントの一括制御やグループ内で出力コンセントのオン/オフを遅延させることができます。

(7) SNMP エージェント機能サポート

SNMP エージェント機能 (UPS 標準 MIB : RFC 1628) をサポートしていますので、SNMP マネージャからも Web-tap の監視や制御ができます。セキュリティを向上させるために、特定のコンピュータからの要求だけを受け付けるよう設定できます。

(8) Web-tap の動作履歴の記録

停電や故障だけでなく、Web-tap に対するさまざまなアクセスも記録できます。

(9) ターミナル機能

設定用ポートに接続したシリアル端末から、Web-tap の設定および制御を行うことができます。

1.3 必要なシステム構成

以下に、Web-tap を構築するために必要な最小限のシステム構成を示します。

1.3.1 必要なハードウェア

- ・ Web-tap 本体
- ・ UPS を接続する場合当社推奨 UPS

1.3.2 必要なソフトウェア

- ・ Java 対応 Web ブラウザ
(InternetExplorer4.0 以上、NetscapeNavigator4.51 以上)

InternetExplorer を使用される場合

InternetExplorer には、JavaVM (Java 実行環境) に幾つかのバージョンがあります。(2000年1月28日現在最新 :Microsoft (R) VM for Java, 5.0 Release 5.0.0.3234)
バージョン4以前の JavaVM 使用時、表示に不具合が発生する場合があります。
バージョン5以降 (最新版) の JavaVM での使用を推奨します。
Microsoft 社製 JavaVM は、Microsoft 社のホームページからダウンロードできます。
JavaVM のバージョンは、ブラウザの [Java コンソール] から確認できます。

1.3.3 シャットダウン可能なコンピュータ

- ・ シリアルポート使用可能なWS
- ・ Windows NT/2000
- ・ Windows95/98 (別途、シャットダウン用ソフトウェア必要)
- ・ NetWare

1.3.4 ネットワーク環境条件

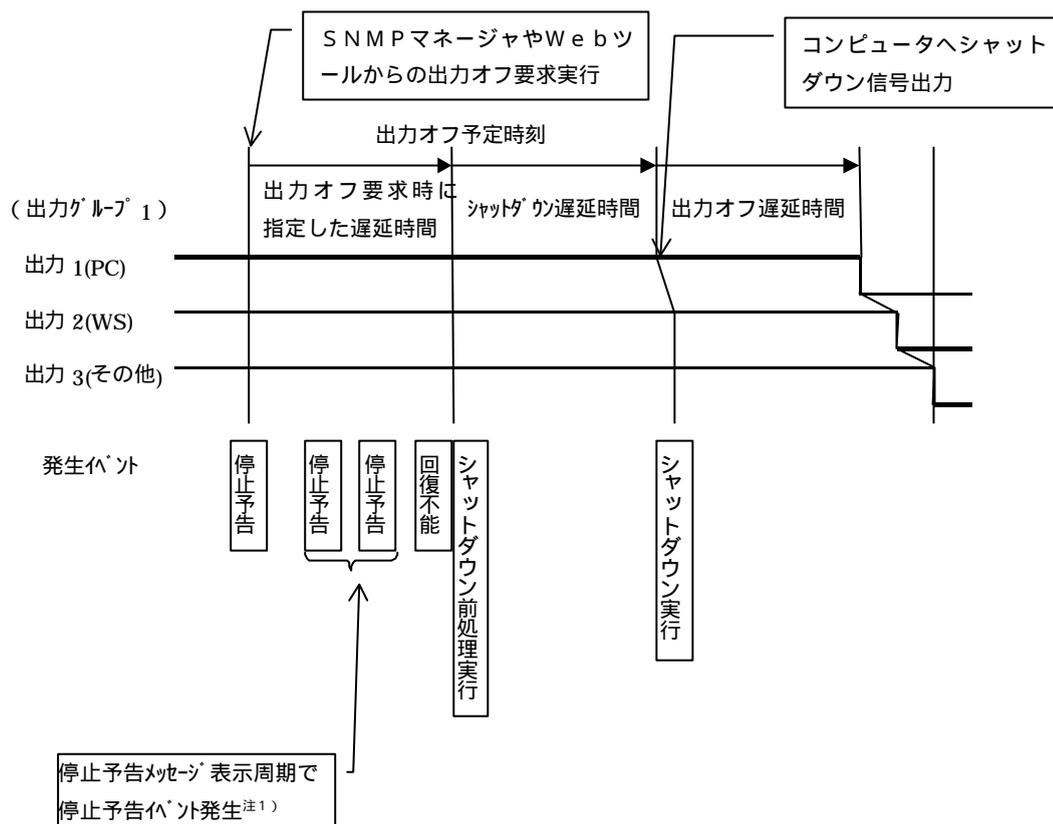
- ・ Web-tap 用に IP アドレスを確保できること。(ネットワーク経由で設定・制御を行う場合)

2. Web-tap の基本動作

2.1 動作シーケンス

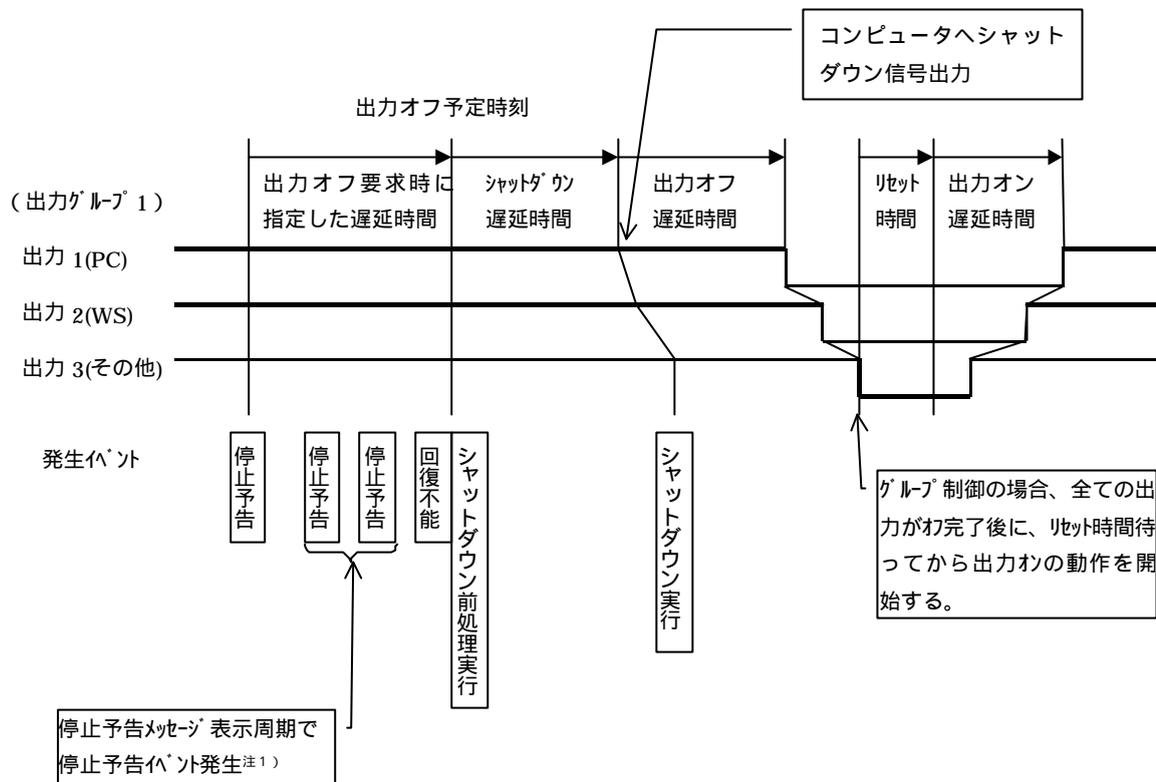
Web-tap では、さまざまな事象を「イベント」として定義しています。このイベント毎にスクリプトの実行内容などを設定します。以下に Web-tap の動作および関連する主なイベントを示します。

(1) リモート制御時シーケンス (出力オフ)



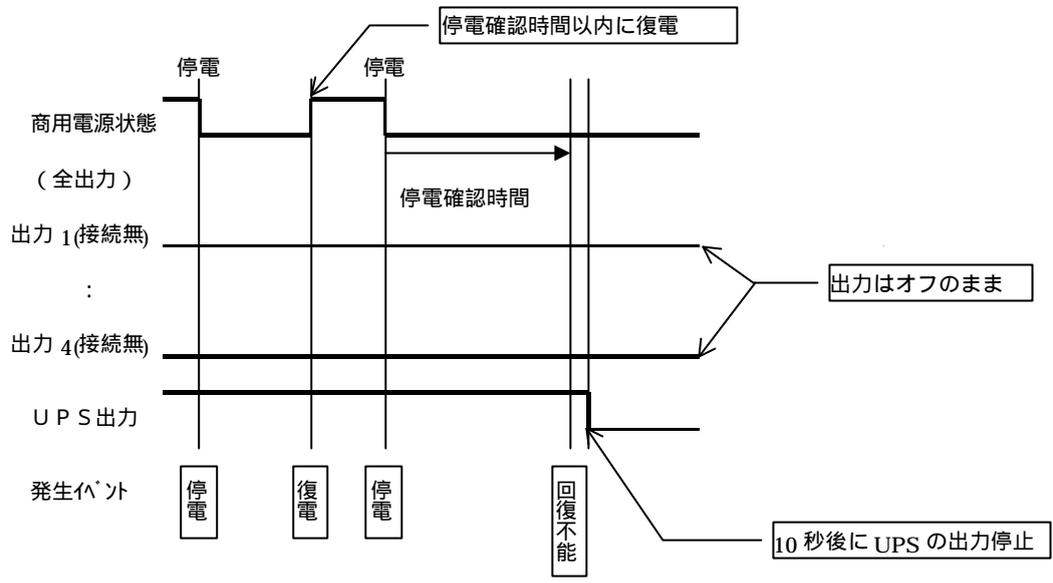
注 1) 接続装置がWS (シリアル) の場合のみ、WSスクリプト設定画面において「停止予告」イベントの設定状態を「有効」に設定することにより、このイベントを通知することができます。WS (シリアル) に対しては、これ以外の発生イベントについても通知することができます。

(2) リモート制御時シーケンス (リセット)

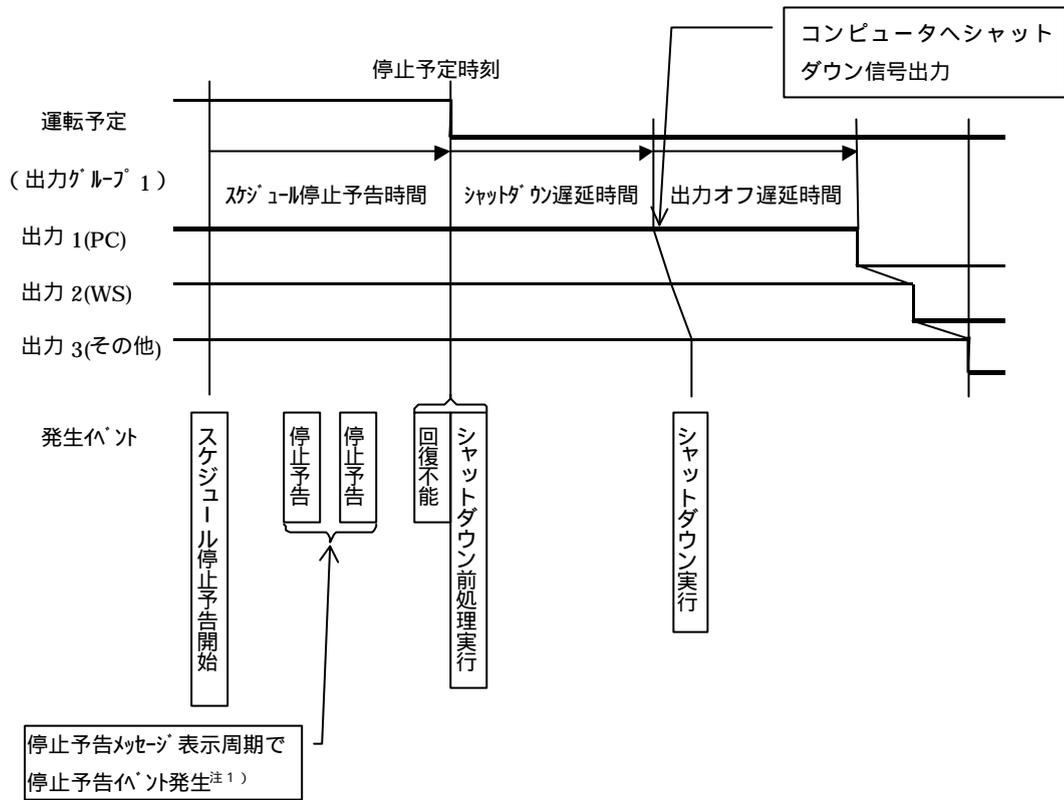


注 1) 接続装置がWS (シリアル) の場合のみ、WS スクリプト設定画面において「停止予告」イベントの設定状態を「有効」に設定することにより、このイベントを通知することができます。WS (シリアル) に対しては、これ以外の発生イベントについても通知することができます。

(3) コンピュータが1台も接続されていない場合の停止シーケンス

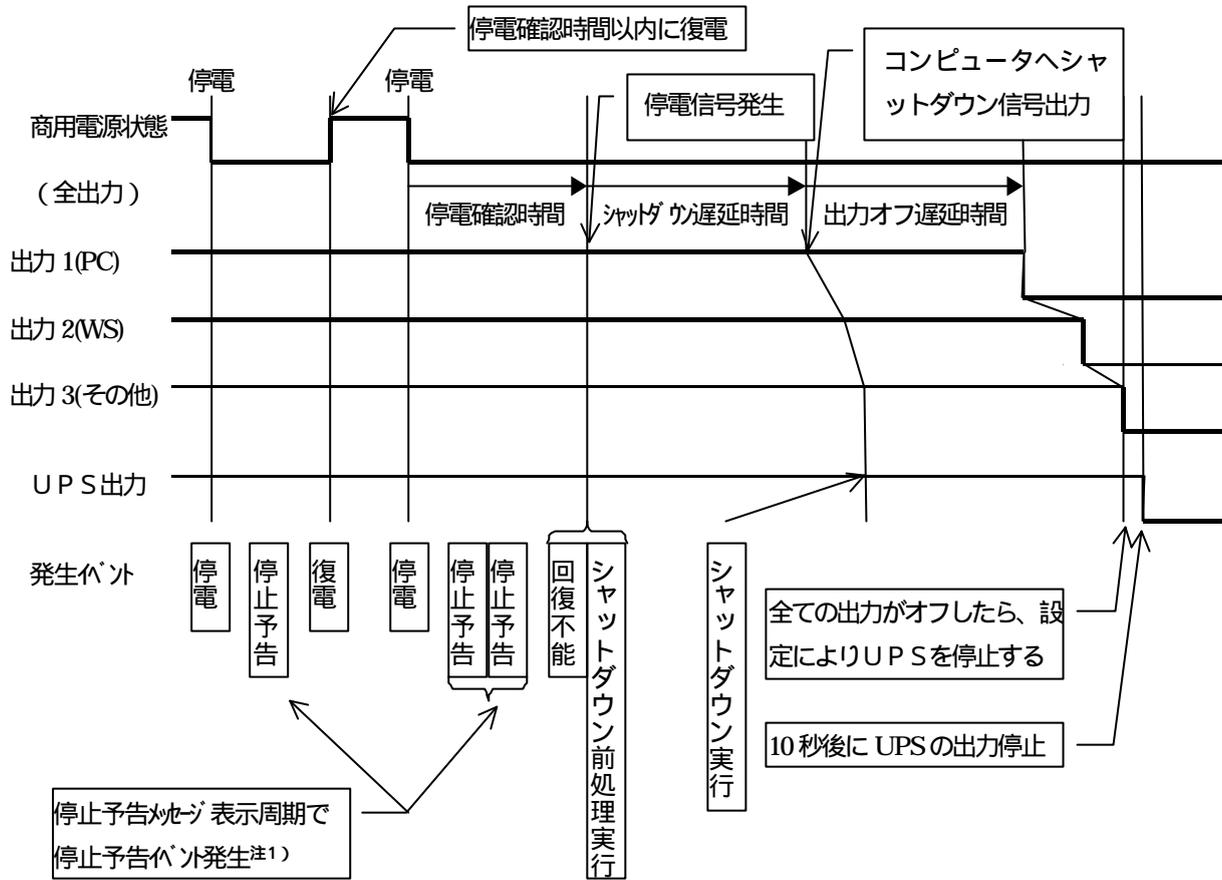


(4) スケジュール運転時シーケンス



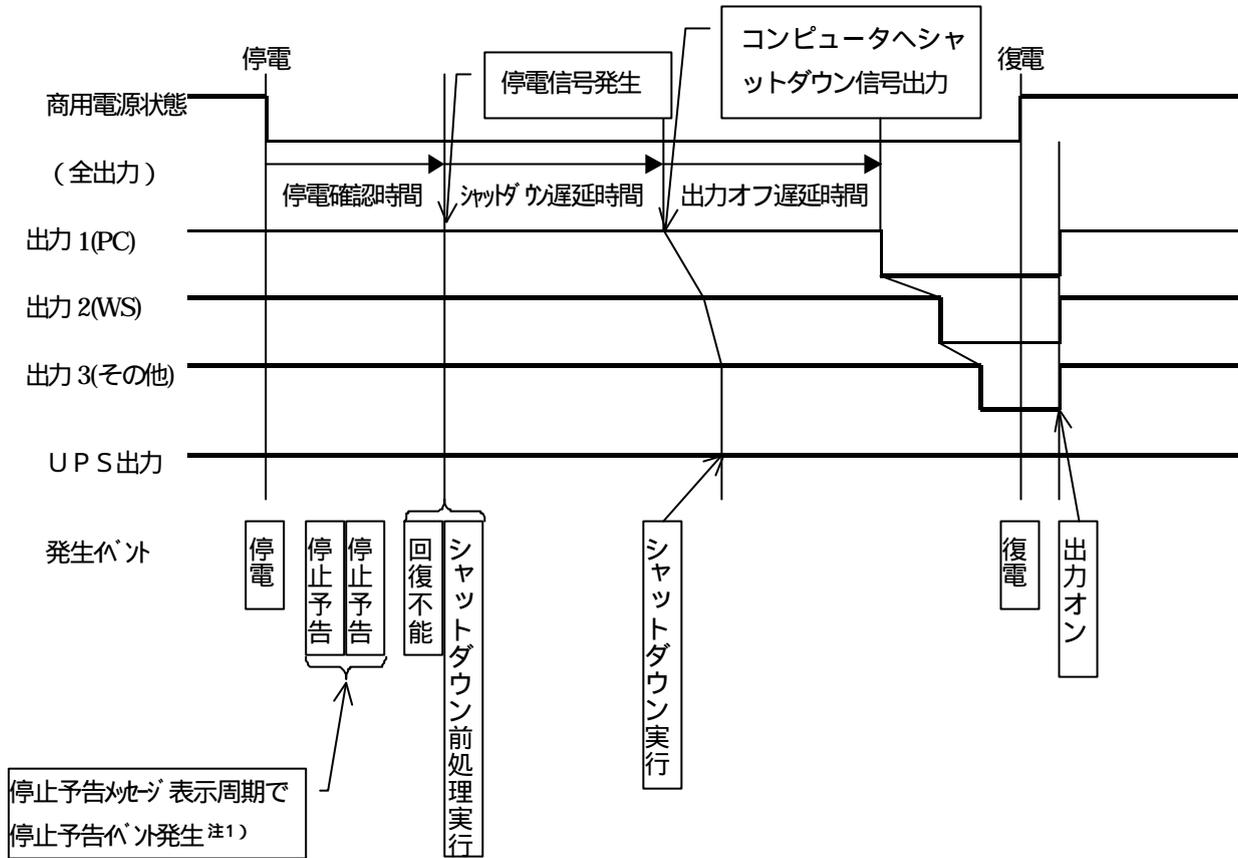
注 1) 接続装置がWS (シリアル) の場合のみ、WSスクリプト設定画面において「停止予告」イベントの設定状態を「有効」に設定することにより、このイベントを通知することができます。WS (シリアル) に対しては、これ以外の発生イベントについても通知することができます。

(5) 停電時シーケンス (UPS 連携時 : UPS を自動停止する場合)



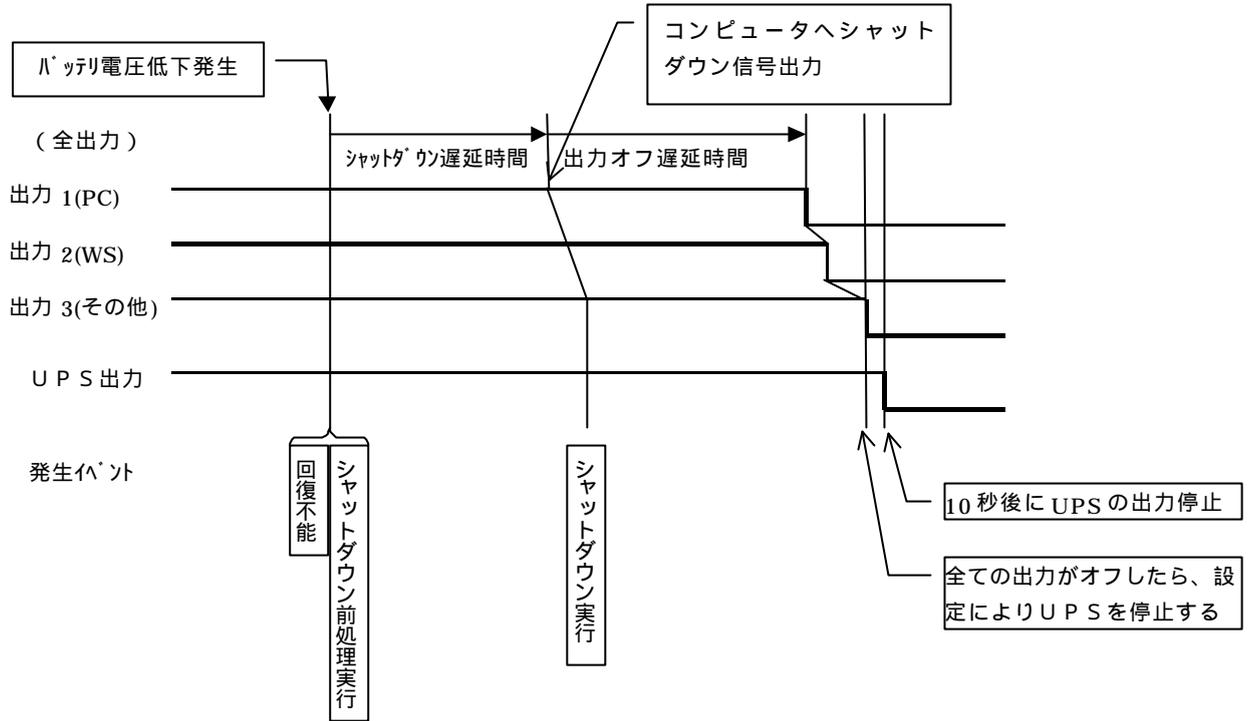
注 1) 接続装置がWS (シリアル) の場合のみ、WSスクリプト設定画面において「停止予告」イベントの設定状態を「有効」に設定することにより、このイベントを通知することができます。WS (シリアル) に対しては、これ以外の発生イベントについても通知することができます。

(6) 停電時シーケンス (UPS 連携時 : UPS を自動停止しない場合)



注 1) 接続装置がWS (シリアル) の場合のみ、WSスクリプト設定画面において「停止予告」イベントの設定状態を「有効」に設定することにより、このイベントを通知することができます。WS (シリアル) に対しては、これ以外の発生イベントについても通知することができます。

(7) バッテリ電圧低下時シーケンス (UPS 連携時)



2.2 コンピュータのシャットダウン実行方法

(1) P C

・Windows2000/NT の場合、OS標準のUPSサービスを利用し、シャットダウンを行います。

・Windows98/95 の場合、SANGUARD A¹を使用します。

・NetWare の場合、OS標準のUPSサービスを利用し、シャットダウンを行います。

¹SANGUARD A は山洋電気株製のUPS 管理ソフト(オプション品)です。

(2) W S

Web-tap がシリアル端末となり、WSにログインします。

ログイン後、WSに対してイベント毎に登録されているコマンドを実行します。

シャットダウン実行イベントに対応したコマンドスクリプトの設定が必要となります。

3. 初期設定

3.1 Web-tap のネットワークアドレスの設定

ネットワークを介して Web-tap の設定・制御を行う場合、Web-tap に IP アドレスを設定する必要があります。(シリアルポートを介して Web-tap の設定・制御を行う場合、Web-tap に IP アドレスを設定する必要はありません)

出荷時のデフォルトの IP アドレスは **192.168.1.1** です。通常は設置する環境に対応した IP アドレスに変更する必要があります。

IP アドレスを変更するには、

LAN を介して変更する。

シリアルポートを介して変更する。

の 2 通りの方法があります。

LAN を介して変更する場合は Telnet 端末、Web ブラウザの何れかを利用します。

シリアルポートを介して変更する場合はターミナルソフトウェアを利用します。

注意

既に 192.168.1.1 の IP アドレスを持つ装置がある場合は、Web-tap の IP アドレスの設定が済むまで、その装置は停止させてください。
Web-tap (192.168.1.1) と LAN を介しての通信ができない環境の場合は、シリアルポートを介して設定してください。

(1) LAN を介して設定する場合

Telnet 端末や Web ブラウザを利用する場合は、PC と Web-tap が TCP/IP レベルで通信できる必要があります。

ネットワークセグメントのクラス設定などの理由により、設定用の PC が 192.168.1.1 の Web-tap と直接通信できない場合は、Web-tap と通信できるように「(A) PC のネットワーク環境の変更」に示す操作から順次、行なってください。

192.168.1.1 の Web-tap と PC が直接通信できる場合は、「(B) Web-tap の IP アドレスの変更」に示す操作だけを行なってください。

(注)以下の設定に関する説明には、Windows を使用した場合を例に説明しています。UNIX 上で設定を行う場合、使用する UNIX のマニュアルを参照の上、コマンドをお使いの環境に置き換えて下さい。

(A) PC のネットワーク環境の変更

PC のコマンドプロンプトウィンドウから以下のコマンドを実行してください。

```
route add 192.168.1.1 MASK 255.255.255.255 <PC の IP アドレス>
```

例) コンピュータの IP アドレスが **172.30.1.10** の場合

```
C:¥WINNT>route add 192.168.1.1 MASK 255.255.255.255 172.30.1.10
C:¥WINNT>
```

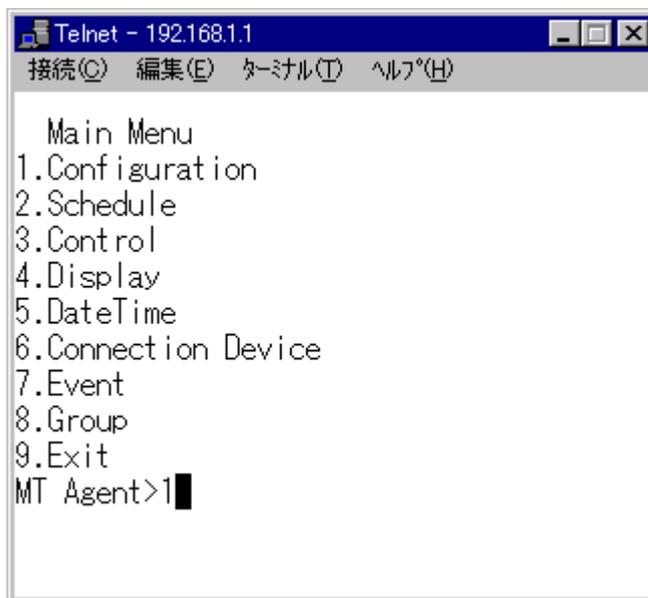
これで、Web-tap と通信ができるようになります。(Web-tap の IP アドレス設定後は、「(C) PC のネットワーク環境の変更」に示す操作を行なってください。)

(B) Web-tapのIPアドレスの変更

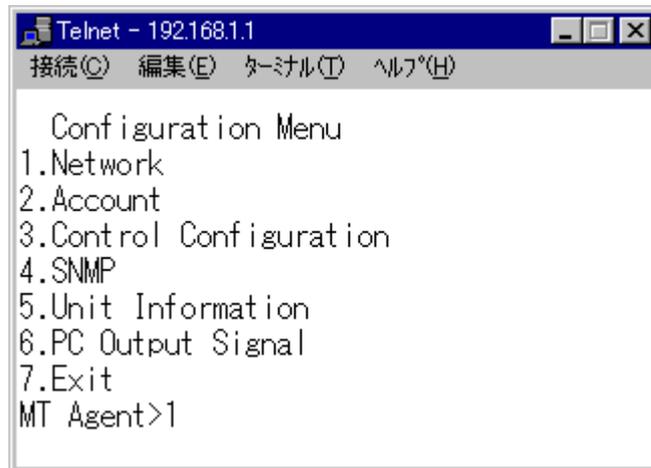
TelnetやWebブラウザを起動して Web-tap のIPアドレスを変更します。以下にTelnet による IP アドレス変更方法について示します。

Web ブラウザによる操作方法については「4. Web管理ツールの操作」を参照してください。

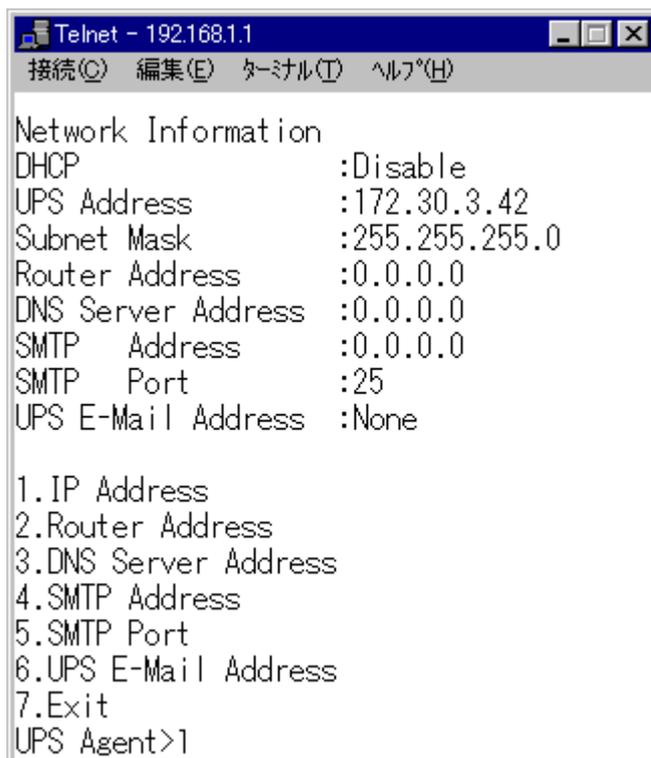
「5.4 Telnet 端末」にしたがってTelnetを使用して、Web-tap と接続してください。認証が完了すると以下に示すメインメニューが表示されますので [1.Configuration] を選択してください。



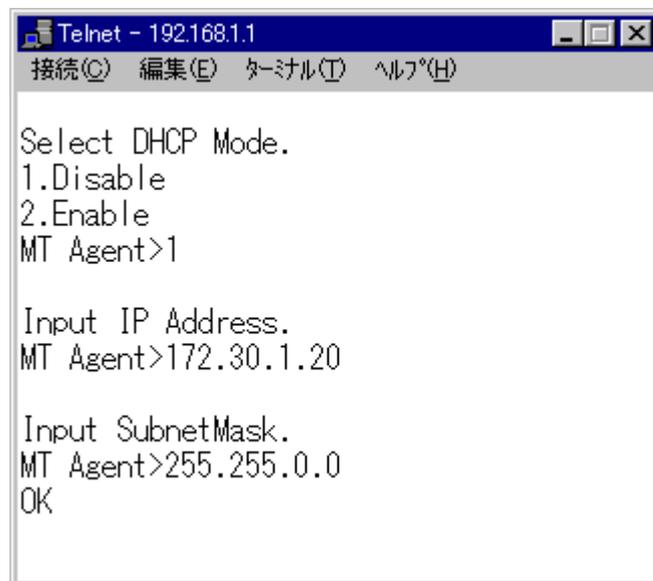
基本設定メニューが表示されますので、[1.Network]を選択してください。



Web-tap の現在の Network の設定とネットワーク設定メニューが表示されます。[1.IP Address]を選択すると、入力モードになります。



DHCP を無効にする場合 (IP アドレス固定) は「1.Disable」、有効にする場合は「2.Enable」を選択してください。なお、出荷時はDHCP は無効になっていますので、リターンキーを押下すれば、IP アドレス入力モードになります。



```
Telnet - 192.168.1.1
接続(C) 編集(E) ターミナル(T) ヘルプ(H)

Select DHCP Mode.
1.Disable
2.Enable
MT Agent>1

Input IP Address.
MT Agent>172.30.1.20

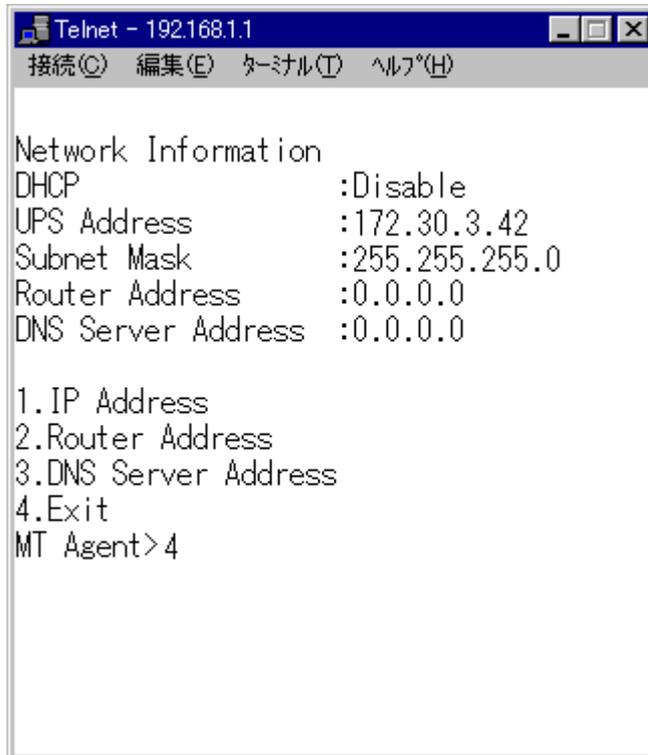
Input SubnetMask.
MT Agent>255.255.0.0
OK
```

注意

Web-tap の IP アドレスを DHCP で割り当てる場合は、以下の方法でネットワーク名が IP アドレスに変換できる必要があります。

- Web-tap の MAC アドレスに対応した IP アドレスを DHCP サーバに登録し、IP アドレスと対応するネットワーク名を DNS サーバ、WINS サーバ、Hosts ファイルの何れかに登録する。

IP アドレスの設定後は、再度現在のNetworkの設定とネットワーク設定メニューが表示されますので、IP アドレスが変更されていることを確認して[4.Exit]を選択してください。メインメニューに戻ります。



```
Telnet - 192.168.1.1
接続(C) 編集(E) ターミナル(T) ヘルプ(H)

Network Information
DHCP :Disable
UPS Address :172.30.3.42
Subnet Mask :255.255.255.0
Router Address :0.0.0.0
DNS Server Address :0.0.0.0

1.IP Address
2.Router Address
3.DNS Server Address
4.Exit
MT Agent>4
```

情報

IP アドレスを変更した後は、Telnet とWeb-tap の通信が切断された時点で Web-tap が再起動し、IP アドレスが更新されます。

メインメニューにて [9.Exit]を選択してください。Telnet が切断され、Web-tap が再起動し、IP アドレスが更新されます。

(C) PCのネットワーク環境の変更

作業が終了した後は、PCのネットワーク環境を元に戻します。

PCのコマンドプロンプトウィンドウから以下のコマンドを実行してください。

```
route delete 192.168.1.1
```

(2) シリアルポートを介して設定する場合

Web-tap の設定用コネクタ (「SETTING PORT/OTHER UNIT」コネクタ) と PC を添付のケーブル、または、D-SUB9 ピンのクロスケーブルで接続して、汎用のターミナルソフトウェアを利用して設定を行ないます。

操作方法については「5.3 シリアル端末」の「5.3.3 基本メニュー (1)ネットワークの設定」(P. 89) を参照願います。

3.2 接続装置の設定

Web-tap を使用し、各出力に接続された PC (接点接続)や WS (シリアル接続)をシャットダウンさせる場合は、PC , WSに対して以下のような設定が必要となります。

3.2.1 PC(接点接続)の設定

(1) Windows NTの場合

(A) 機能説明

停電発生時に警告メッセージを表示します。

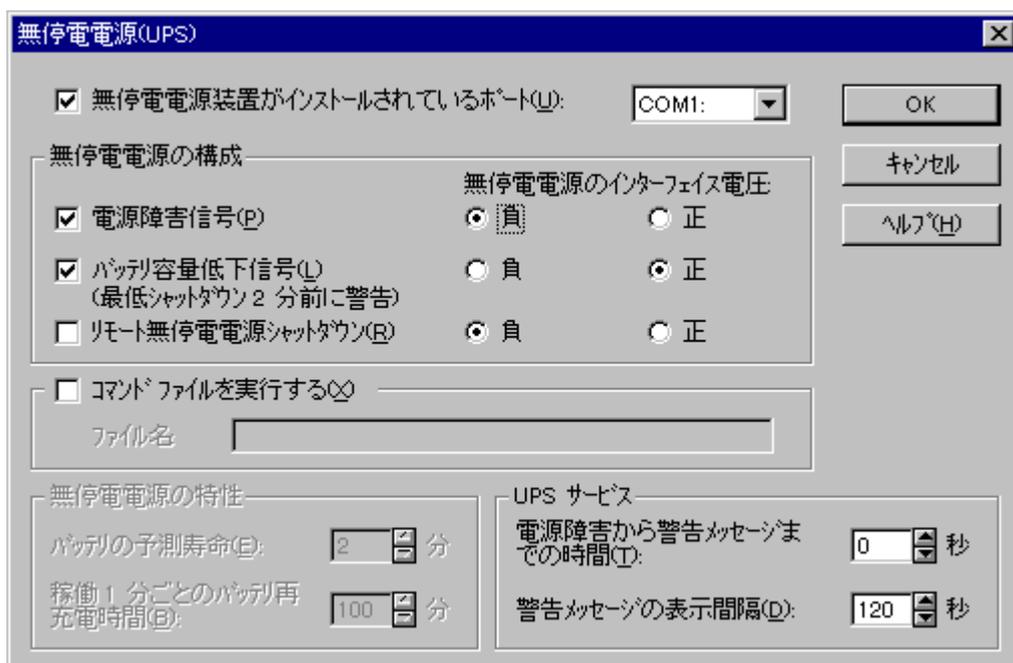
Web-tap が UPS に接続されている場合、停電が発生し停電確認時間が経過すると、Web-tap と接続している PC に対して停電発生 of 信号を送ります。

自動的にシステムのシャットダウンを実行します。

停電確認時間が経過し、シャットダウン遅延時間が経過すると Web-tap から PC に対してバッテリー電圧低下信号を送ります。これにより、PC は直ちにシャットダウンを実行し、システムを安全に停止します。

(B) UPS サービスの設定

コントロールパネルで「無停電電源(UPS)」をダブルクリックします。無停電電源(UPS)の設定を次の通りとしてください。



初期設定

無停電電源装置がインストールされているポート(U)のチェックボックスをチェックする。(ポートはインタフェースケーブルを接続したポートを指定します)

<無停電電源の構成ボックス>

電源障害信号(P)のチェックボックスをチェックし、「無停電電源のインターフェイス電圧」を「負」に指定してください。

バッテリー容量低下信号(L)のチェックボックスをチェックし、「無停電電源のインターフェイス電圧」を「正」に指定してください。

<無停電電源の特性>

このボックスはバッテリー容量低下信号(L)のチェックボックスをチェックしていることにより設定はできません。

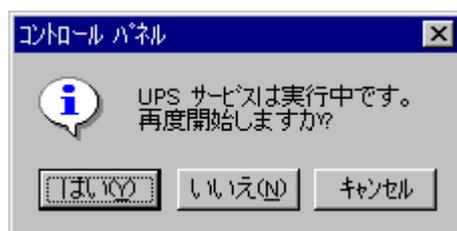
<UPS サービス>

電源障害から警告メッセージまでの時間(T)のチェックボックスをチェックし、停電が発生してからユーザに最初のメッセージを送信するまでの時間を秒単位で指定します。指定できる値の範囲は0~120秒です。(デフォルトは5秒)

警告メッセージ表示間隔(D)のチェックボックスをチェックし、最初に警告メッセージがユーザに送信されてから、繰り返しユーザに警告メッセージを通知する間隔を、秒単位で指定します。指定できる値の範囲は5~300秒です。(デフォルトは120秒)

これで無停電電源(UPS)の設定は終了ですので「OK」ボタンをクリックします。

UPS サービスが開始されていない場合、「開始しますか？」のメッセージがサーバより出ますので「はい」ボタンをクリックします。



以上で設定は終了です。

初期設定

(C) 機能試験

Web-tap とPC との接続、および UPS サービスの設定終了後に機能試験を行ってください。
ただし、この試験はWindowsNTにログインしている状態で行ってください。

PCが接続されている出力コンセントをオフします。
Web管理ツールを使用し出力オフ制御を行うか、Web-tap 正面の制御ボタンを操作します。

シャットダウン遅延時間経過後にPCがシャットダウン処理を開始します。

以上で機能試験は終了です。異常がある場合は、再度設定を見直してください。

(2) Windows 2000の場合

(A) 機能説明

停電発生時に警告メッセージを表示します。

Web-tap がUPSに接続されている場合、停電が発生し停電確認時間が経過すると、Web-tap と接続しているPCに対して停電発生を送ります。

自動的にシステムのシャットダウンを実行します。

停電確認時間が経過し、シャットダウン遅延時間が経過するとWeb-tap からPCに対してバッテリー電圧低下信号を送ります。これにより、PCは直ちにシャットダウンを実行し、システムを安全に停止します。

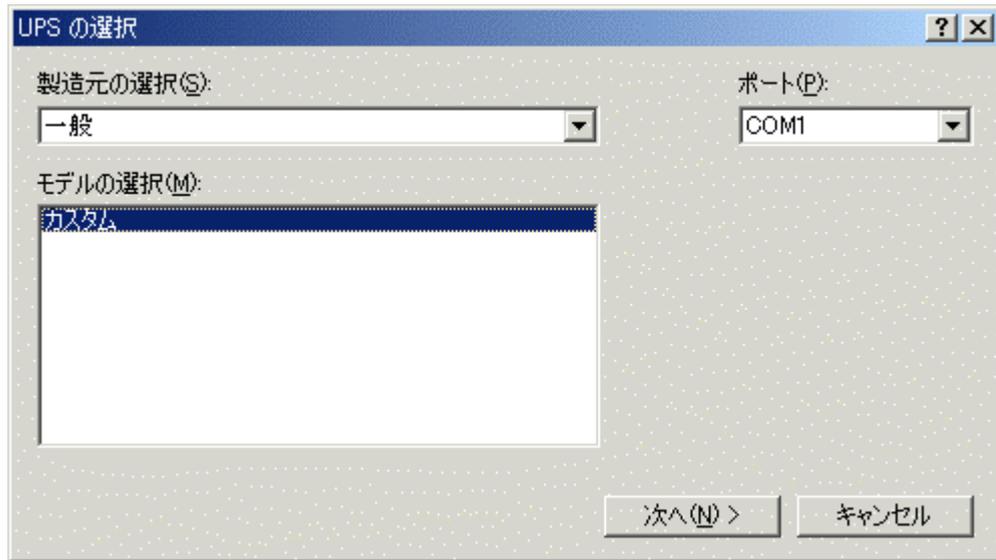
(B) UPSサービスの設定

コントロールパネルで「電源オプション」を選択し、「UPS」タグを選択します。「詳細」の「選択」ボタンを押下してください。

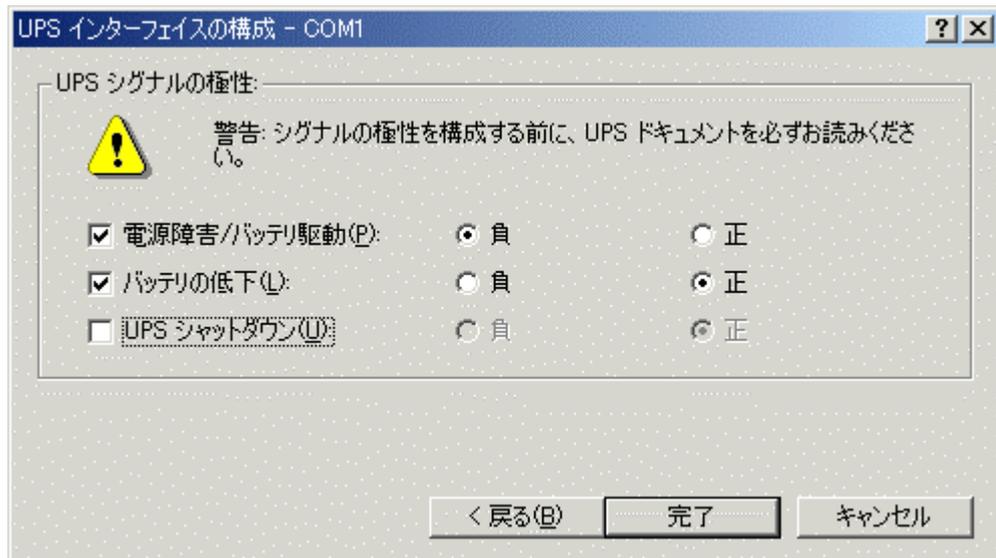


初期設定

次に、「製造元の選択」において「一般」を選択します。「ポート」はWeb-tapとシリアルケーブルで接続するシリアルポートを選択し、「次へ」ボタンを押下してください。



以下のように設定し、「完了」ボタンを押下してください。



(C) 機能試験

Web-tap とPC との接続、および UPS サービスの設定終了後に機能試験を行ってください。ただし、この試験はWindows2000 にログインしている状態で行ってください。

初期設定

PCが接続されている出力コンセントをオフします。

Web管理ツールを使用し出力オフ制御を行うか、Web-tap 正面の制御ボタンを操作します。

シャットダウン遅延時間経過後にPCがシャットダウン処理を開始します。

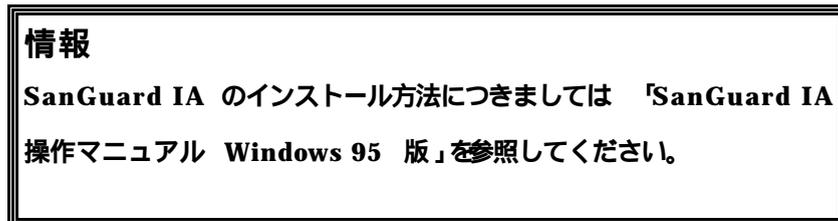
以上で機能試験は終了です。異常がある場合は、再度設定を見直してください。

(3) Windows 95 / 98 の場合

(A) 機能説明

Windows NT の場合と同様。

(B) 山洋電気(株)「SanGuard IA」の設定



通信ポート

接続ポート]チェックボックスをチェックする。(ポートはインタフェースケーブルを接続したポートを指定します)



< 信号極性 >

「電源停止信号」の信号極性を「負」に指定してください。

「バッテリー容量低下信号」の信号極性を「正」に指定してください。

「無停電電源停止信号」の信号極性を「正」に指定してください。(未使用)

停電処理



電源停止信号が「停電確認時間」+「停止遅延時間」継続したら、PC をシャットダウンします。

注意

SanGuard IA によりPC(接点接続)のシャットダウンを行う場合には、「シャットダウン遅延時間」(「4.4 接続装置設定」参照)を0秒に設定し、回復不能時には SanGuard IA の設定により、「停電確認時間」+「停止遅延時間」経過後にシャットダウンを開始するように設定してください。

また、「停電確認時間」+「停止遅延時間」の合計時間は、「出力オフ遅延時間」(「4.4 接続装置設定」参照)より短い時間とし、出力がオフする前にPCがシャットダウンを完了するように設定してください。

「警告間隔」は停電発生時の警告メッセージの表示間隔を、秒単位で指定します。
指定できる値の範囲は5~30秒です。(デフォルトは5秒)

(C) 機能試験

Web-tap とPC との接続、およびSanGuard IAの設定終了後に機能試験を行ってください。ただし、この試験はWindowsにログインしている状態で行ってください。

Web管理ツールの出力オフ制御を行ってください。

シャットダウン遅延時間経過後にPCがシャットダウン処理を開始します。

以上で機能試験は終了です。異常がある場合は、再度設定を見直してください。

(4) Netwareの場合

(A) 機能説明

停電発生時に警告メッセージを表示します。

Web-tap がUPSに接続されている場合、停電が発生し停電確認時間が経過すると、Web-tap と接続しているPCに対して停電発生を知らせる信号を送ります。

自動的にシステムのシャットダウンを実行します。

停電確認時間が経過し、シャットダウン遅延時間が経過するとWeb-tap からPCに対してバッテリー電圧低下信号を送ります。これにより、PCは直ちにシャットダウンを実行し、システムを安全に停止します。

(B) UPSサービスの設定

NetWare3.1J, 4.Xの場合

NetWare UPS モジュールプログラム「UPS.NLM」が起動ファイルの中にあるか確認して下さい。

コマンド「LOAD UPS TYPE=6」を入力して下さい。入力方法はハードウェアにより異なりますので、詳細は NetWare システムのアドミニストレーションマニュアル「UPSのパラメータ」の項をご覧ください。

NetWare5.Xの場合

UPS_AIO をロードすることで、シリアルポートから接点信号でシャットダウンができるようになります。

UPS_AIO ロード時には「SIGNAL_HIGH」パラメータはつけずにロードしてください。

なお、NetWare5.Xの場合、Web-tap 側の接点信号の極性を以下のように変更する必要があります。設定方法は「5.3.3 基本設定メニュー」の「(6)PC 制御用接点信号の極性の設定」(P99)をご覧ください。

Battery Low = HIGH ... バッテリ電圧低下 <通常時> 負 <発生時> 正
Power Failure = HIGH ... 停電 <通常時> 負 <発生時> 正

(C) 機能試験

Web-tap とPC との接続、および UPS サービスの設定終了後に機能試験を行ってください。

PC が接続されている出力コンセントをオフします。

Web 管理ツールを使用し出力オフ制御を行うか、Web-tap 正面の制御ボタンを操作します。

シャットダウン遅延時間経過後にPC がシャットダウン処理を開始します。

以上で機能試験は終了です。異常がある場合は、再度設定を見直してください。

3.2.2 WS(シリアル接続)の設定

Web-tap にWSを接続する場合は、シリアルケーブルを介してWSの端末としてログインし、シャットダウンコマンドの実行を行ないます。したがって、Web-tap にはWSをシャットダウンするためのスクリプトを設定する必要があります。

以下に、WSを Web-tap で制御するための設定方法などについて示します。

(1) WSの制御の仕組み

Web-tap は、WSへメッセージを表示したり、シャットダウンを実行する場合に、以下の手順でWSと通信を行ないます。

- (A) Web-tapに設定されているWSに対応したスクリプトにしたがってログインを行ないます。
- (B) ログイン完了後、WS毎、イベント毎に設定されているコマンドを実行します。

例えば、停電発生後のシャットダウン実行イベント発生時には、デフォルトでは以下のコマンドを実行します。

```
shutdown -h now  
wait=<SHUTDOWN MESSAGE>  
sleep=60
```

Web-tap に初期設定されているシャットダウンコマンドは、お使いのシステムとは違う場合があります。それぞれのシステムに合ったシャットダウンコマンドに修正し使用してください。

(2) WSのシリアルポートの設定

Web-tap を使用して、WSへメッセージの表示やシャットダウンを行うためには、WS のシリアルポートを端末接続用に設定する必要があります。

情報

WS のシリアルポートの設定方法につきましては、WS のマニュアルを参照してください。

WS のシリアルポート設定後、シリアルケーブルを接続し、ターミナルソフト等を使いWS へログインできることを確認してください。

(3) シリアル端末からのWSのシャットダウンコマンドなどの確認

(A) シャットダウンするWSに対して以下の項目を確認してください。

- リモートログインしてシャットダウン可能なユーザ名およびパスワード
- その端末で有効な漢字コード (EUC、JIS、SJISの何れか)
- メッセージ表示コマンド (wallなど)
- WSシャットダウンを行なうためのコマンドおよびコマンド実行時に即座にシャットダウンを開始させるためのコマンドオプション

(B) 前記の内容でメッセージの表示やシャットダウンがシリアルポート経由で行なえることを、ターミナルソフトを使用し、WSにログインして確認してください。

情報

WSの不正な操作を防止するために、シャットダウンを行なうだけのアカウントを作成することをお勧めいたします。

初期設定

WS 毎の共通スクリプトおよびイベント毎のスクリプトとして以下の内容が設定されています。(出荷時設定内容)

WS 毎の共通スクリプト

```
retry=1
interval=30
timeout=30
wait=ogin:
send=<USER NAME>
wait=assword:
send=<PASSWORD>
wait=#
```

シャットダウン実行イベントに対応したスクリプト

```
shutdown -h now
wait=<SHUTDOWN MESSAGE>
sleep=60
```

情報

WS のOSがSolarisの場合はシャットダウンコマンドのオプションを以下(下線部)のように変更してください。

```
send=shutdown -y -g -i0
wait=<SHUTDOWN MESSAGE>
sleep=60
```

情報

WS で日本語のメッセージ送信ができる場合は、共通スクリプトに以下の2行を追加してください。

```
send=echo %MESSAGE% |wall
sleep = 1
```

スクリプトの記述ルール

スクリプトには以下の何れかの形式で記述します。

send=送信文字列

wait=受信待ち文字列

timeout=受信待ち文字列最大待ち時間 (秒) [初期値 30秒]

sleep=待ち時間 (秒)

retry=スクリプト失敗時のリトライ回数 (回)

[初期値 1回、有効範囲 0~ 10回]

interval=スクリプト失敗時のリトライ間隔 (秒)

[初期値 30秒、有効範囲 1~ 60秒]

スクリプト中に使用できるマクロ文字列

送信文字列にはマクロが使用できます。以下の一覧表に示すマクロ文字列が指定されている場合は、対応した文字列に置き換わります。

マクロ文字列	意味
%STOP_TIME_M%	回復不能までの残り時間 (分の位)
%STOP_TIME_S%	回復不能までの残り時間 (秒の位)
%SD_DELAY_TIME%	UPS に設定されているシャットダウン遅延時間 (秒)
%BAT_CHG_MON%	バッテリー交換までの残り月数
%MESSAGE%	イベントに対応した表示文字列 (初期値は日本語)

(4) 機能試験

- (A) Web管理ツールまたはターミナル機能でWSスクリプトを編集します(「4.9.3 WSスクリプト編集」または、「5.3.8 装置接続設定メニュー」の「(3) イベントの設定」を参照)。
- (B) Web管理ツールを使用し出力オフ制御を行うか、Web-tapの正面のスイッチを操作します。
- (C) リモート要求による停止メッセージが表示されることを確認してください。
- (D) 出力オフ制御を行ってから「シャットダウン遅延時間」経過後に、WSがシャットダウンを開始することを確認してください。

以上で機能試験は終了です。異常がある場合は、再度設定を見直してください。

注意

シャットダウン後、リセットスイッチなどによりWSを再起動しないでください。Web-tapは停止シーケンスに入っていますので、WSの立ち上がり途中で、電源断になる可能性があり、危険です。

3.3 UPSとの接続

3.3.1 UPSとの接続時の設定

- (1) 専用のインタフェースケーブルにより、Web-tapとUPSを接続します。
- (2) Web管理ツールの「基本設定」を選択します。
- (3) 「UPSとの連携」を、「接点接続」、または「シリアル接続」に設定し「OK」ボタンを押下します。

注意

UPSとの接続方法につきましては、UPSの取扱説明書によりご確認ください。なお、「接点接続」、「シリアル接続」の設定を間違えますと、停電発生時、あるいはバッテリー電圧低下時に正常に出力をオフすることができませんのでご注意ください。

3.3.2 機能試験

UPSとWeb-tapとの接続、Web-tapとコンピュータとの接続、および、接続装置の設定終了後に機能試験を行ってください。

- (1) UPSの正常運転状態の時、UPSの入力プラグをコンセントから抜き、疑似停電の状態にしてください。
- (2) Windows NTの場合
 - (A) 停電が停電確認時間継続後、「電源障害から警告メッセージまでの時間(I)」で設定した時間が経過すると、画面に停電警告メッセージが表示されます。
電源障害から警告メッセージまでの時間(I)」で設定した時間が経過しても表示が出ない場合は入力ポート指定などに誤りがないか確認してください。
 - (B) さらにシャットダウン遅延時間経過後にPCがシャットダウン処理を開始します。
- (3) Windows 95 / 98の場合
 - (A) 停電が停電確認時間継続後、「警告間隔」で設定した間隔で、画面に停電警告メッセージ

が表示されます。

表示が出ない場合は入力ポート指定などに誤りがないか確認してください。

(B) 「停電確認時間」 + 「停止遅延時間」経過後にPCがシャットダウン処理を開始します。

(4) NetWareの場合

(A) 画面に停電警告メッセージが表示されます。約20秒経過しても表示が出ない場合は入力ポ

ート指定などに誤りがないか確認してください。

(B) さらにシャットダウン遅延時間経過後にPCがシャットダウン処理を開始します。

(5) WS (シリアル接続)の場合

(A) 停電発生後、「2.1 動作シーケンス2.1 (5) 停電時シーケンス (UPS連携時: UPSを自動停止する場合)」で定義されている発生イベントが、画面に表示されます。

表示が出ない場合は入力ポート指定などに誤りがないか確認してください。

(B) 「停電確認時間」 + 「停止遅延時間」経過後にPCがシャットダウン処理を開始します。

以上で機能試験は終了です。異常がある場合は、再度設定を見直してください。

情報

出力オフ制御時の初期値は以下のとおりです。(出力オフ制御を行ってから約2分後にUPSが停止します。)

- シャットダウン遅延時間 : 0秒
- 出力オフ遅延時間 : 120秒

動作の詳細については「2.1 動作シーケンス」を参照してください。

3.4 カスケード接続

Web-tap が UPS から電力供給を受ける場合、複数の Web-tap をカスケード接続して複数同時に UPS と連携して動作させることができます。

3.4.1 カスケード接続時の設定

(1) UPS と直接接続された Web-tap (マスター) の設定

「3.3 UPS との接続」参照。

(2) 下位に接続された Web-tap (スレーブ) の設定

(A) 専用のインタフェースケーブルにより、マスターの Web-tap とスレーブの Web-tap を接続します。

(B) Web 管理ツールの「基本設定」を選択します。

(C) 「停電確認時間」をマスターの Web-tap の設定に合わせます。

(D) 「UPS との連携」を「接点接続」に設定し「OK」ボタンを押下します。

注意

スレーブ側の Web-tap は、「UPS との連携」の設定を「接点接続」に設定してください。これ以外の設定になっていると、停電発生時、あるいはバッテリー電圧低下時に正常に出力をオフすることができませんのでご注意ください。

注意

カスケード接続時に停電あるいはバッテリー電圧低下が発生した場合、マスターの Web-tap は全ての出力がオフした後、UPS に対して停止要求をかけます。（設定が、「停電時 UPS を停止する」となっている場合）

UPS の停止により、UPS から電源供給を受けている全ての Web-tap が停止します。

このため、スレーブの Web-tap の「シャットダウン遅延時間」+「出力オフ遅延時間」の値がマスターの Web-tap より長い時間に設定されていれば、スレーブの Web-tap は全ての出力がオフする前に停止してしまいます。

したがって、カスケード接続を行う場合には、スレーブの Web-tap はマスターの Web-tap の「シャットダウン遅延時間」+「出力オフ遅延時間」の値を越えないようにする必要があります。

3.4.2 機能試験

UPS とマスターの Web-tap との接続、Web-tap どちらのカスケード接続、スレーブ側の Web-tap とコンピュータとの接続、および、接続装置の設定終了後に機能試験を行ってください。

- (1) UPS の正常運転状態の時、UPS の入力プラグをコンセントから抜き、疑似停電の状態にしてください。
- (2) スレーブ側の Web-tap に接続されたコンピュータが、「2.1 動作シーケンス2.1 (5) 停電時シーケンス (UPS 連携時 : UPS を自動停止する場合) 」通りにシャットダウン処理を行うことを確認します。

以上で機能試験は終了です。異常がある場合は、再度設定を見直してください。

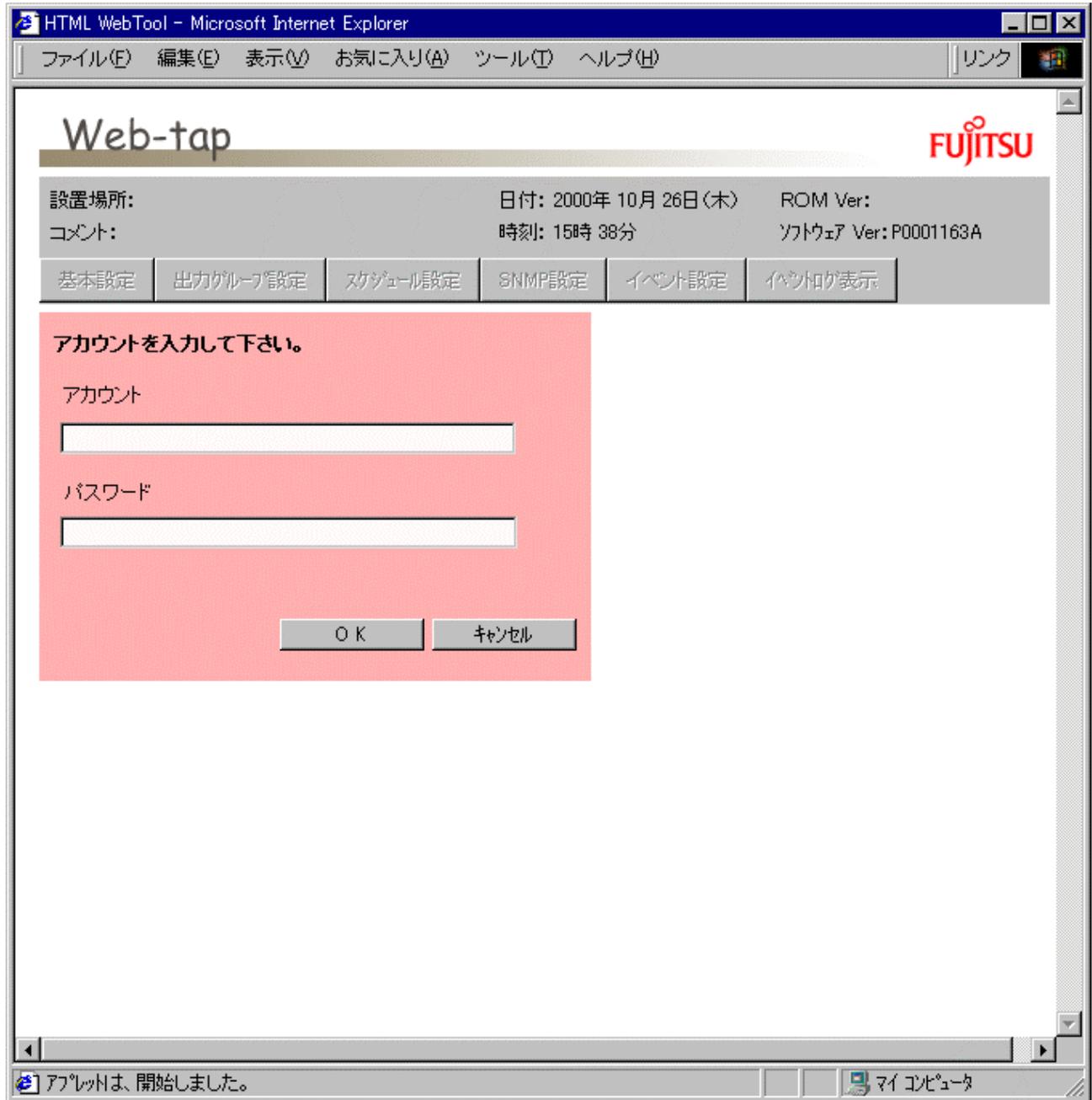
4. Web管理ツールの操作

4.1 Web管理ツールの起動

Java1.1 対応ブラウザからWeb-tap に接続するためには、アドレスバーにWeb-tap のアドレスを記述します。



Java1.1 対応ブラウザからWeb-tap に接続すると下図の画面が表示されます。



(1) Web-tap用の「アカウント」、「パスワード」を入力してください。

(注意)パスワードは、大文字/小文字の区別を行います。

Web管理ツールの操作

- (2) 「OK」ボタンを押すと、ユーザー認証が行われ、管理者認証の確認後にメインの画面に切り替わります。
- (3) 「キャンセル」ボタンを押すと、入力値がクリアされます。

情報

出荷時のアカウントは

アカウント名： **MtAdmin** (大文字小文字を区別しません)

パスワード： **MtAdmin** (大文字小文字を区別します)

となっております。

4.2 管理ツールのメイン画面 (システム制御画面)

管理者認証後、下図の画面が表示されます。本画面は、各出力コンセントの状態表示、出力制御、および、各種設定を行うための画面です。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A				
コメント:	時刻: 18時 21分	ソフトウェア Ver: P0000985A				
基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定	SNMP設定	イベント設定	イベントが表示	UPS連携なし

システム制御画面								
出力状態								
	出力オン	WS(シリアル)接続有	出力オン	PC(接点)接続有	出力オフ	PC(接点)接続有	出力オフ	その他接続無
	グループ1		グループ2		グループ3		グループ4	
装置説明	WS-01		PC-02		PC-03		HUB-04	
	group1		group2		group3		group4	
制御ボタン	オン		オン		オン		オン	
	オフ		オフ		オフ		オフ	
	リセット		リセット		リセット		リセット	
	接続装置設定		接続装置設定		接続装置設定		接続装置設定	
<input checked="" type="radio"/> 装置別制御 <input type="radio"/> 出力グループ別制御 <input type="radio"/> 一括制御								

(1) Web-tap 情報

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A				
コメント:	時刻: 18時 21分	ソフトウェア Ver: P0000985A				
基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定	SNMP設定	イベント設定	イベントが表示	UPS連携なし

Web-tap 本体の設置場所、コメントの情報、プログラムのバージョン情報、UPS との連携状態を表示します。

設置場所、コメント、UPS との連携の情報は、基本設定機能で設定変更できます。

時計情報は、Web ブラウザが動作しているコンピュータの時計情報を表示します。

(2) 出力状態

各出力コンセント、シリアル接続の状態を表示します。

表示形態は Web-tap のタイプにより下記のようになります。

Web-tap タイプ	出力数	出力コンセントの 状態表示	シリアルポートの 状態表示
Web-tap	4	あり	あり
Web-tap	8	あり	なし

出力コンセントの状態表示は以下のようになります。

状態表示名	表示色	備考
オン	緑色	
オフ	白色	
シャットダウン	黄色	Web-tap の場 合
待機中	黄色	Web-tap の場 合
未使用	灰色	

Web-tap でシリアルポート使用による状態表示

状態表示名	表示色	備考
使用 (接点接続)	シアン色	
使用 (シリアル接続)	シアン色	
未使用	灰色	

(3) 装置説明

装置 説明	PC
	装置設置場所
	装置コメント
	出力グループ

接続装置情報、グループ情報を表示します。

表示エリアの上から、装置名称、装置設置場所、コメント、グループ名称です。

この内容は、[接続装置設定]、[出力グループ設定]で設定変更できます。

(4) 制御ボタン

オン/オフ/リセット制御を出力コンセント単位、グループ単位、全出力コンセント一括の3パターンの出力形態で制御できます。

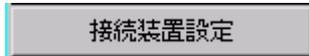
(5) 制御系統切替

装置別制御
 出力グループ別制御
 一括制御

制御出力を行う単位を切り替えます。

出力コンセント単位、グループ単位、全出力コンセント一括のいずれかを選択します。

(6) 接続装置設定ボタン



出力コンセントに接続されている装置の情報を設定する画面へ移動します。

このボタンは、制御系統切替が、「装置別制御」の場合に表示されます。

(7) 基本設定ボタン

Web-tap 本体のネットワーク設定、UPS との連携など基本的な設定を行う画面へ移動します。

(8) 出力グループ設定ボタン

出力コンセントをグループ化して運用するための設定を行う画面へ移動します。

(9) スケジュール設定ボタン

スケジュール運転を行うための設定を行う画面へ移動します。

(10) SNMP設定ボタン

SNMP に関する設定を行う画面へ移動します。

(11) イベント設定ボタン

出力オン/オフ、シャットダウン実行などのイベント実行時、イベントをログに記録するか、または、イベント発生に合わせてスクリプトを実行する場合の設定画面へ移動します。

(12) イベントログ表示ボタン

Web-tap 内部のイベントログ情報表示画面へ移動します。

4.3 制御

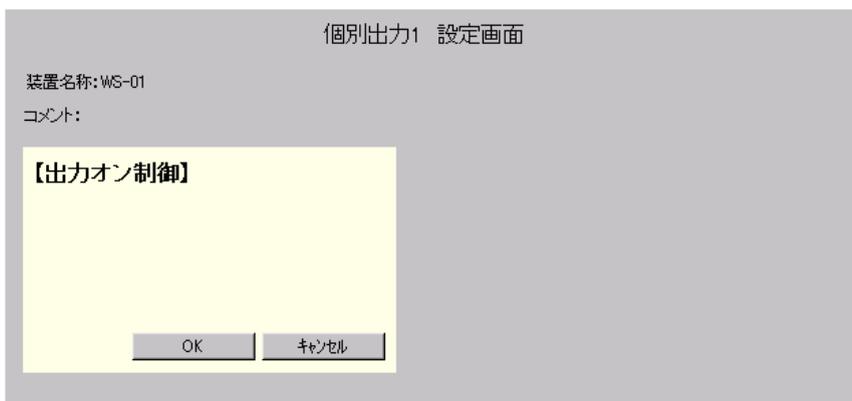
Web-tap の Web 管理ツールから、以下の3つの制御が行えます。

- ・オン 出力コンセントに電源を入れます。
- ・オフ 出力コンセントの電源を切ります。
- ・リセット 出力コンセントの電源を切り、一定時間後に入れ直します。

制御出力を行う単位も以下の3系統から選択出来ます。

- ・出力コンセント 出力コンセント個別の制御出力
- ・出力グループ 複数の出力コンセントをグループ化し、グループ内を一括制御出力
(グループ化は、[出力グループ設定]画面で設定を行います)
- ・全出力コンセント一括 全出力コンセント一括制御出力

システム制御画面の [オン] ボタンを押すと下図の画面が表示されます。

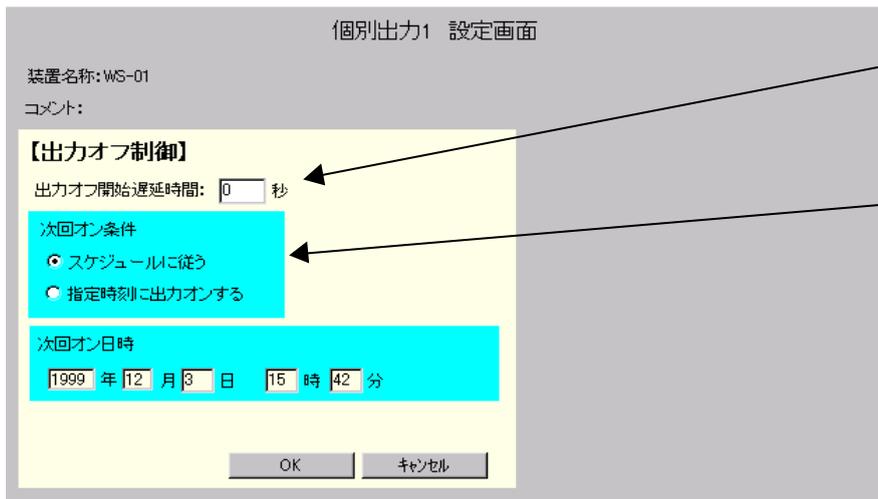


[OK]ボタンで出力オンの制御を実行します。

[キャンセル]ボタンでシステム制御画面へ戻ります。

(以下のオフ、リセットも動作は同じです)

・システム制御画面の [オフ] ボタンを押すと下図の画面が表示されます。



出力オフの動作に入るまでの予備時間^{注1)}

次回出力をオンするための条件を設定します。

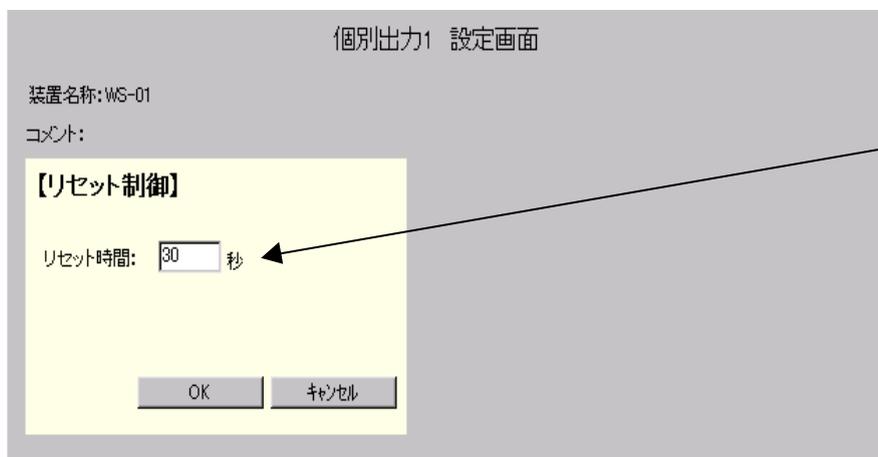
- ・スケジュールに従う

次回の起動スケジュールが設定されている場合、そのスケジュールにしたがいオンします。

スケジュールが設定されていない場合、オフ状態を保持します。

注 1)出力オフ開始遅延時間は、保存情報ではありません。出力オフ制御をおこなうごとに、必要に応じて設定してください。

・システム制御画面の [リセット] ボタンを押すと下図の画面が表示されます。



出力をオフし、オンするまでの時間を設定します。

実際にオンするまでの時間は、リセット時間+オン遅延時間がかかります。

【出力グループについて】

Web-tap では、複数の出力コンセントをグループ化することでそのグループ内の出力コンセントを一括管理することができます。

デフォルトでは、出力グループ1つに出力コンセント1つが割り当てられています。

・下図は、出力コンセント1, 3 をグループ1に設定し、出力コンセント2, 4 をグループ2に設定。

システム制御画面

出力状態								
	出力オン	その他 接続無	出力オン	その他 接続無	出力オン	その他 接続無	出力オン	その他 接続無
装置説明	グループ1				グループ2			
	HUB-01		HUB-03		HUB-02		HUB-04	
					1F		1F	
	group1				group2			
制御ボタン	オン				オン			
	オフ				オフ			
	リセット				リセット			
<input type="radio"/> 装置別制御 <input checked="" type="radio"/> 出力グループ別制御 <input type="radio"/> 一括制御								

「出力グループ別制御」に切り替えると、グループ単位での制御が行えます。

システム制御画面

出力状態								
	出力オン	その他 接続無	出力オン	その他 接続無	出力オン	その他 接続無	出力オン	その他 接続無
装置説明	グループ1				グループ2			
	HUB-01		HUB-03		HUB-02		HUB-04	
					1F		1F	
	group1				group2			
制御ボタン	オン				オン			
	オフ				オフ			
	リセット				リセット			
<input type="radio"/> 装置別制御 <input type="radio"/> 出力グループ別制御 <input checked="" type="radio"/> 一括制御								

「一括制御」に切り替えると、全装置に対して制御が行えます。

4.4 接続装置設定

メイン画面の [制御系統]-「装置別制御」の場合、[接続装置設定] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver:P0000984A
コメント:	時刻: 18時 13分	ソフトウェア Ver:P0000985A
基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定
SNMP設定	イベント設定	イベントが表示
		UPS連携なし

接続装置1 設定画面

装置名称:	WS-01	
設置場所:		
コメント:		
装置タイプ:	WS(シリアル) ▼	
通信速度:	9600 ▼	データビット長: 8 ▼
パリティ:	なし ▼	ストップビット長: 1 ▼
	フロー制御:	なし ▼
	漢字コード:	ソフトJIS ▼

出力遅延時間	
シャットダウン遅延時間	0 秒
オフ遅延時間	120 秒
オン遅延時間	0 秒

(1) 装置名称 / 設置場所 / コメント

出力コンセントに接続する装置の情報を記述できます。

この項目への情報設定は必須ではありませんが、システム制御画面から制御を行う場合など、装置情報が表示されていると管理が容易になります。

図では、装置名称：WS-01

設置場所：空白（未設定）

コメント： 空白（未設定）

と設定されています。

(注意) 装置名称」に使用出来ない文字列があります。下記条件に当てはまらない名前を付けて下さい。

・数字のみの文字列

・全角文字が含まれる文字列

(2) 装置タイプ

PC(接点接続)
WS(シリアル)
その他の装置
接続無

左図の項目中から接続装置を選択します。

装置タイプ	説明	備考
PC (接点接続)	WindowsNT/2000、Windows95/98、NetWareを接続します。(1)	Web-tapのみ
WS (シリアル)	UNIX コンピュータを接続します。(2)	Web-tapのみ
その他の装置	上記コンピュータ以外の機器を接続します。	
接続無	何も接続しません。(出力コンセントオフのままです)	

(1)WindowsNT/2000、NetWare コンピュータは、標準のUPS サービスを利用します。

Windows95/98 コンピュータは、専用のシャットダウンソフトを利用します。

(2)UNIX コンピュータは、シリアルポートを介して、端末装置として接続します。

装置タイプ変更時の注意

接続装置有りから「接続装置無し」に変更する場合、必ず出力をオフした状態で変更して下さい。システム制御画面の制御ボタンは無効状態になり、制御できなくなります。

(もし、このような状態になった場合は、「装置タイプ」を再設定して下さい。)

(3) 通信速度

(この設定は、接続装置が **WS (シリアル)** の場合だけ設定できます。)

9600
1200
2400
4800
19200

上記の中から、シリアルポートの通信速度を選択します。

(4) データビット長

(この設定は、接続装置が **WS (シリアル)** の場合だけ設定できます。)

8
7
6
5
4

上記の中から、シリアルポートのデータビット長を選択します。

(5) フロー制御

(この設定は、接続装置が **WS (シリアル)** の場合だけ設定できます。)



上記の中から、シリアルポートのフロー制御の項目を選択します。

(6) パリティ

(この設定は、接続装置が **WS (シリアル)** の場合だけ設定できます。)



上記の中から、シリアルポートのパリティを選択します。

(7) ストップビット長

(この設定は、接続装置が **WS (シリアル)** の場合だけ設定できます。)



上記の中から、シリアルポートのストップビット長を選択します。

(8) 漢字コード

(この設定は、接続装置が **WS (シリアル)** の場合だけ設定できます。)



上記の中から、接続するUNIX コンピュータの漢字コードを選択します。

(9) 出力遅延時間

出力遅延時間	
シャットダウン遅延時間	<input type="text" value="20"/> 秒
オフ遅延時間	<input type="text" value="5"/> 秒
オン遅延時間	<input type="text" value="0"/> 秒

【シャットダウン遅延時間】

この値は、接続装置が、コンピュータの場合に有効になります。

オフ制御動作開始から、シャットダウン開始するまでの時間を入力します。

この間に、シャットダウン前処理を実行できます。

【オフ遅延時間】

シャットダウン開始し、出力コンセントを落とすまでの時間を入力します。

接続機器がコンピュータの場合は、シャットダウン遅延時間 + (余裕を持たせてください) としてください。

【オン遅延時間】

出力コンセントをオンする遅延時間を入力します。

停電復旧時の突入電流の防止、または、他の出力コンセントに接続しているコンピュータの起動にタイミングを持たせる場合などに有効です。

(1 0) 設定内容の反映

[OK] ボタンを押すと、画面内の内容がWeb-tap に反映されます。

[戻る] ボタンを押すと、画面内の内容を反映せずに、メイン画面へ戻ります。

4.5 基本設定

メイン画面の [基本設定] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A				
コメント:	時刻: 18時 17分	ソフトウェア Ver: P0000985A				
基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定	SNMP設定	イベント設定	イベントが表示	UPS連携なし

基本設定画面		
IPアドレス 192.168.1.1	ネットワークアドレス <input type="radio"/> DHCPサーバからの動的アドレス <input checked="" type="radio"/> 固定アドレス	UPSとの連携 <input checked="" type="radio"/> 連携なし <input type="radio"/> 接点接続 <input type="radio"/> シリアル接続
サブネットマスク 255.255.255.0		停電確認時間 60 秒
設置場所		<input checked="" type="checkbox"/> 停電時UPSを自動停止する
コメント		<input checked="" type="checkbox"/> 停止予告メッセージを表示する
デフォルトゲートウェイ(固定アドレスのみ有効) 0.0.0.0		停止予告メッセージ表示周期 300 秒
DNSサーバ(固定アドレスのみ有効) 0.0.0.0		スケジュール停止予告時間 600 秒
アカウント設定	時計設定	OK 戻る

(1) IPアドレス/サブネットマスク

Web-tap 本体のアドレスが表示されます。

デフォルト値は、	IP アドレス: 192.168.1.1
	サブネットマスク: 255.255.255.0

注意

Web-tap の IP アドレスまたはサブネットマスクを変更した場合は、設定完了後に Web-tap は再起動します。Web-tap の再起動にかかる時間はおよそ 30 秒程度です。この間は一切の設定、監視、制御が行なえません。

また、Web-tap を再起動する場合には、必ず Web 管理ツールも再起動してください。

(2) 設置場所 / コメント

Web-tap の情報を記述できます。

この情報は、Web-tap 情報として表示されます。

図では、設置場所：空白 (未設定)

コメント： 空白 (未設定) が設定されています。

(3) ネットワーク設定条件

- ネットワークアドレス
- DHCPサーバからの動的アドレス
 - 固定アドレス

ネットワークアドレスの設定方法を指定できます。

(4) デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイアドレスを設定できます。

Web-tap のネットワークアドレスが固定アドレスで指定されている場合だけ設定できます。

(5) DNSサーバ

DNS サーバ使用時に DNS サーバアドレスを設定できます。

Web-tap のネットワークアドレスが固定アドレスで指定されている場合だけ設定できます。

(6) UPSとの連携

UPSとの連携

- 連携なし
- 接点接続
- シリアル接続

Web-tap がUPS から電力供給を受け、UPS と連携して動作させる場合、UPS との連携条件を設定します。

- 連携なし UPS との連携を行わない場合。
- 接点接続 UPS 本体の接点信号と接続する場合。または、マスターの Web-tap とカスケード接続する場合。
- シリアル接続 UPS のシリアルポートと接続する場合。

UPS が停電を検知した場合、接続中のコンピュータをシャットダウンし (Web-tap の場合)、すべての出力コンセントをオフした後、UPS の出力をオフすることができます。

(7) 停電確認時間

停電確認時間 秒

UPS との連携を行う場合、ここで設定した時間経過後に停電と判断します。以降、回復不能として動作します。
停電発生から確認時間内に復旧した場合、停電復旧とします。

(8) 停電時UPSを自動停止する条件

停電時UPSを自動停止する

UPS との連携を行う場合、停電発生時に全出力コンセントをオフした後、UPS 出力を切ることが出来ます。
チェックが付いていない場合、UPS 出力はバッテリー放電終止まで行います。

(9) 停止予告メッセージ

停止予告メッセージを表示する

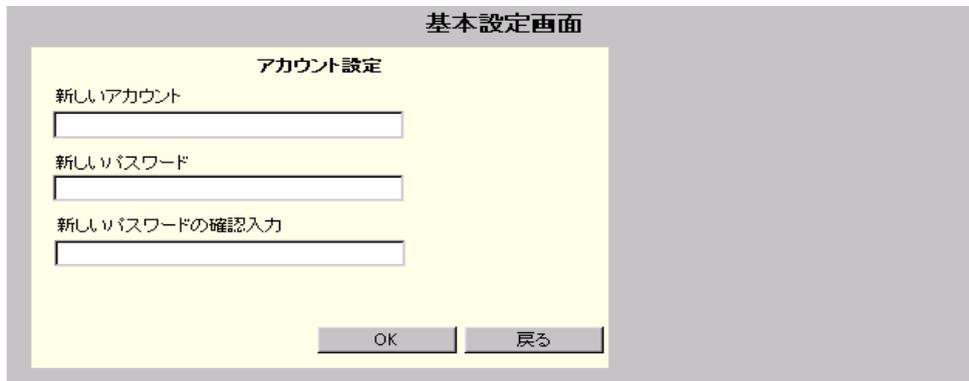
停止予告メッセージ表示周期 秒

スケジュール停止予告時間 秒

停電、スケジュール停止の時に停止予告メッセージを行うかの設定を行えます。
停止メッセージを表示するタイミングを設定できます。

(1 0) アカウント設定ボタン

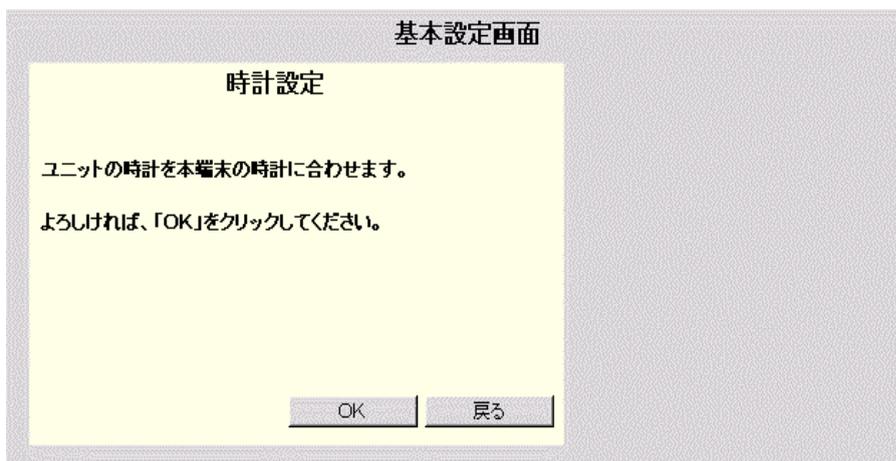
ボタンを押すと下図の画面が表示されます。



管理者アカウント、パスワードの変更が行えます。

(1 1) 時計設定

ボタンを押すと下図の画面が表示されます。



Web-tap の時計を管理ツールが動作しているコンピュータの時計情報に合わせます。

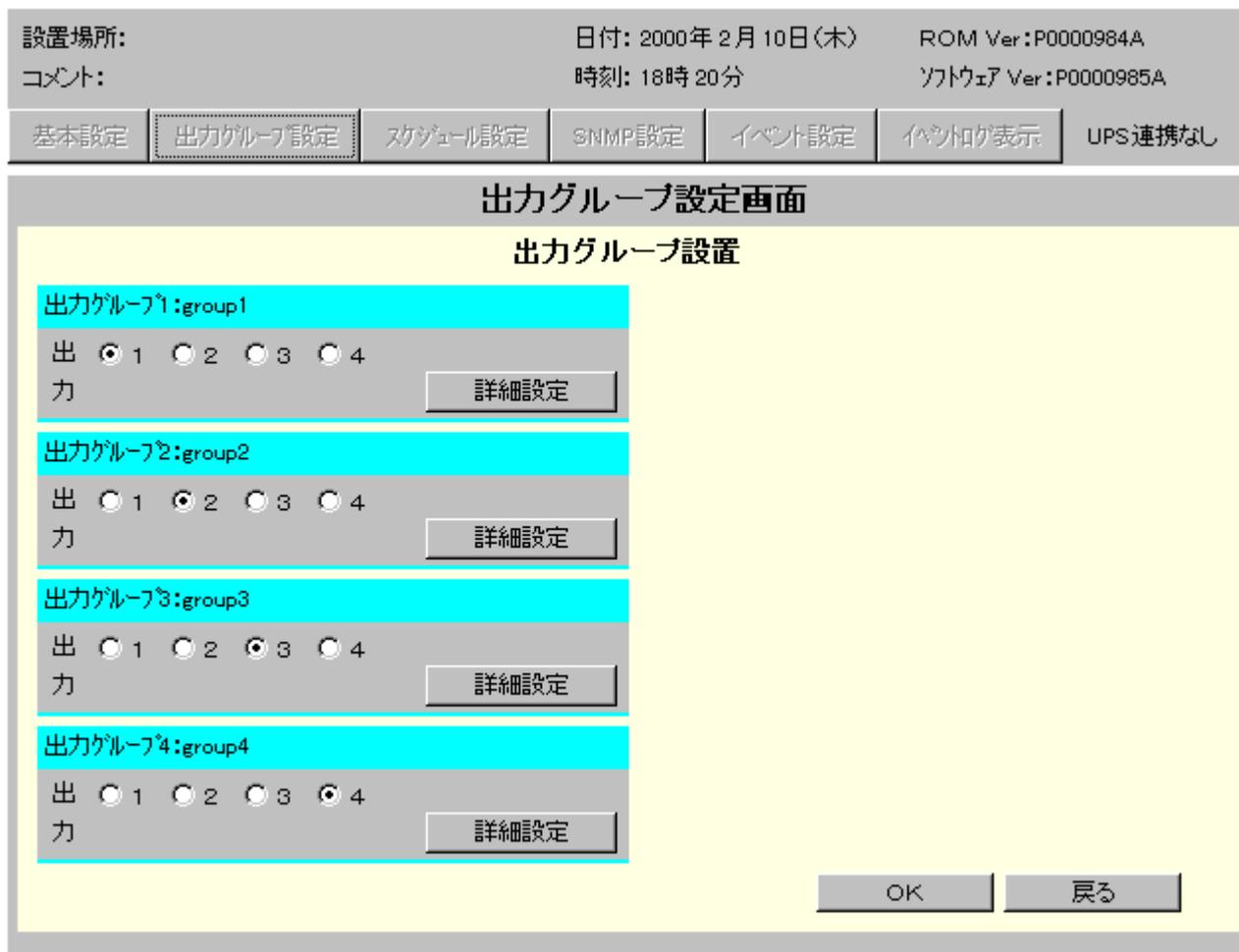
(1 2) 設定内容の反映

[OK] ボタンを押すと、画面内の内容が Web-tap に反映されます。

[戻る] ボタンを押すと、画面内の内容を反映せずに、メイン画面へ戻ります。

4.6 出力グループ設定

メイン画面の [出力グループ設定] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。



Web-tab 画面の表示例です。(Web-tab の場合、出力グループは 8 個まで表示されます。)

(1) 出力グループ名表示

詳細設定画面で設定された出力グループ名称が表示されます。

画面例では、出力グループ 1 のグループ名称には、「出力グループ 1」が登録されています。

(2) 出力コンセントの割り当て



左図は、Web-tab のものです。

Web-tab では、出力数が 8 つになります。

出力グループに含める出力コンセントのチャンネル No を登録します。

1つの出力グループには、複数個の出力コンセントを登録できます。

(3) 詳細設定ボタン

詳細設定ボタンを押すと下図の画面が表示されます。

設置場所:	日付: 2000年 2月 1日 (火)	ROM Ver: P0000984A				
コメント:	時刻: 15時 30分	ソフトウェア Ver: P0000985A				
基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定	SNMP設定	イベント設定	イベントが表示	UPS連携なし

出力グループ設定画面

出力グループ1 設定

出力グループ名称

コメント

主電源投入時の自動投入条件
 起動する 起動しない

スケジュール運転:無効
次回オン時刻: 0000/00/00-00:00:00
次回オフ時刻: 0000/00/00-00:00:00

・出力グループ名称 / コメント

出力グループの名称、コメントを登録できます。

・主電源投入時の自動投入条件

Web-tap 本体の電源が投入されたとき、出力グループ配下の出力コンセントを自動投入するかを設定します。

[起動する]の場合、停電復旧時などは必ず出力コンセントは通電します。ただし、スケジュール設定時は、スケジュールを優先します。()

[起動しない]の場合、停電復旧時などは出力コンセントは通電しません。手動で出力コンセントをオンする必要があります。

()出力グループのスケジュールが設定され、且つ、スケジュールが「有効」の場合、起動スケジュールに従い出力コンセントがオンします。

・スケジュール情報

スケジュール運転:無効
次回オン時刻:0000/00/00-00:00:00
次回オフ時刻:0000/00/00-00:00:00

出力グループのスケジュール運転情報を表示します。

スケジュール運転の有効/無効、次回の出力オン時間、次回の出力オフ時間を表示します。

表示中の情報は、スケジュール運転無効、スケジュール運転時間設定なしを表示しています。

(4) 設定内容の反映

[OK] ボタンを押すと、画面内の内容がWeb-tap に反映されます。

[戻る] ボタンを押すと、画面内の内容を反映せずに、出力グループ設定画面のメイン画面へ戻ります。

4.7 スケジュール設定

メイン画面の [スケジュール設定] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

この画面がスケジュール運転の設定用メイン画面です。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A
コメント:	時刻: 18時 23分	ソフトウェア Ver: P0000985A

基本設定 出力グループ設定 **スケジュール設定** SNMP設定 イベント設定 イベントが表示 UPS連携なし

スケジュール設定画面

スケジュール運転条件

<input type="radio"/> スケジュール統一	<input type="checkbox"/> スケジュール運転を行う
<input checked="" type="radio"/> グループ別スケジュール	指定日 週間 スケジュール確認

【グループ1】	<input checked="" type="checkbox"/> スケジュール運転を行う	指定日 週間 スケジュール確認
【グループ2】	<input type="checkbox"/> スケジュール運転を行う	指定日 週間 スケジュール確認
【グループ3】	<input type="checkbox"/> スケジュール運転を行う	指定日 週間 スケジュール確認
【グループ4】	<input type="checkbox"/> スケジュール運転を行う	指定日 週間 スケジュール確認

OK 戻る

Web-tab 画面の表示例です。(Web-tab の場合、グループが 8 個まで表示されます。)

(1) スケジュール切り替え

- スケジュール統一
- グループ別スケジュール

スケジュールの設定方法を選択します。

[スケジュール統一] 選択により、全てのグループのスケジュールを同一に設定することができます。

[グループ別スケジュール] 選択では、各出力グループ毎にスケジュールを設定できます。

(Web-tab では、最大 4 系統設定できます。Web-tab では、最大 8 系統設定できます。)

(2) スケジュール運転条件

スケジュール運転を行う

出力グループのスケジュール運転有無を設定します。

チェックが付いている場合、設定されたスケジュールにしたがい、スケジュール運転を実施します。

チェックが付いていない場合、スケジュール運転が設定中でも、スケジュール運転を行いません。

(3) 指定日ボタン

指定日スケジュール設定画面へ移ります。

(4) 週間ボタン

週間スケジュール設定画面へ移ります。

(5) スケジュール確認

スケジュール確認画面へ移ります。

(6) OK ボタン

設定内容をWeb-tap に反映し、システム制御画面へ移ります。

(7) 戻るボタン

設定内容をWeb-tap に反映せずに、システム制御画面へ移ります。

4.7.2 スケジュール統一

スケジュール設定画面の [スケジュール統一] を選択したときに下図の画面が表示されます。
この画面では、全グループのスケジュールを、ひとつのスケジュールに統一設定します。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A
コメント:	時刻: 18時 25分	ソフトウェア Ver: P0000985A

基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定	SNMP設定	イベント設定	イベントが表示	UPS連携なし
------	----------	----------	--------	--------	---------	---------

スケジュール設定画面

スケジュール運転条件

<input checked="" type="radio"/> スケジュール統一	<input type="checkbox"/> スケジュール運転を行う
<input type="radio"/> グループ別スケジュール	指定日 週間 スケジュール確認

基本とするグループを選択して下さい。

グループ:

全てのグループのスケジュール情報を上書きします。

(1) グループ設定

スケジュールを統一するために、基本とする出力グループを選択します。
この操作により、すべての出力グループに設定してあるスケジュールが書き変わります。

(2) OK ボタン

設定内容をWeb-tap に反映します。

(3) キャンセルボタン

設定内容をWeb-tap に反映せずに、スケジュール設定画面へ戻ります。

4.7.3 指定日スケジュール

スケジュール設定画面の [指定日] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

この画面では、指定日スケジュールの設定を行います。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A
コメント:	時刻: 18時 30分	ソフトウェア Ver: P0000985A

基本設定 | 出力グループ設定 | **スケジュール設定** | SNMP設定 | イベント設定 | イベントが表示 | UPS連携なし

スケジュール設定画面

出力グループ1 指定日

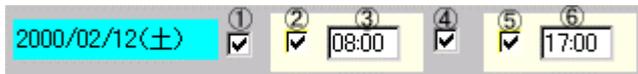
	オン	オフ	設定一覧
2000/02/10 (木)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	日付: オン時間: オフ時間 <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
2000/02/11 (金)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	
2000/02/12 (土)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	
2000/02/13 (日)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	
2000/02/14 (月)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	
2000/02/15 (火)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	
2000/02/16 (水)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	
2000/02/17 (木)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 08:00	
2000/02/10	<input type="button" value="左記の日付へ移動"/>		

指定日スケジュール動作について

指定日スケジュールは週間スケジュールより優先して実行されます。つまり、指定日スケジュールと週間スケジュールが同一日に設定されている場合は、指定日スケジュールが実行されます。

スケジュール設定後は、スケジュール確認機能でスケジュールの確認を行って下さい。

(1) スケジュール時間設定



起動スケジュール有効チェックボックス

指定日 (上図の例では 2000年 2月 12日)に起動スケジュールを行うか設定します。

チェックが付いている場合は、指定日の起動スケジュールが設定されている場合は、指定日スケジュールが実行されます。指定日スケジュール未設定で週間スケジュールが設定されている場合は、週間スケジュールが実行されます。

チェックが付いていない場合は、週間スケジュールが設定されていても、起動スケジュールを実行しません。

指定日起動スケジュール有効チェックボックス

チェックを付けることにより、指定日の起動スケジュールが有効になります。また、起動時刻の設定が可能になります。

指定日起動時刻入力エリア

起動時刻を設定します。

停止スケジュール有効チェックボックス

指定日の停止スケジュールの有効 / 無効を設定します。(動作は、 起動スケジュール有効チェックボックスと同じです)

指定日停止スケジュール有効チェックボックス

チェックを付けることにより、指定日の停止スケジュールが有効になります。また、停止時刻の設定が可能になります。

指定日停止時刻入力エリア

停止時刻を設定します。

オン、オフの何れか一方だけの設定もできます。

起動 / 停止スケジュール時間入力時の注意

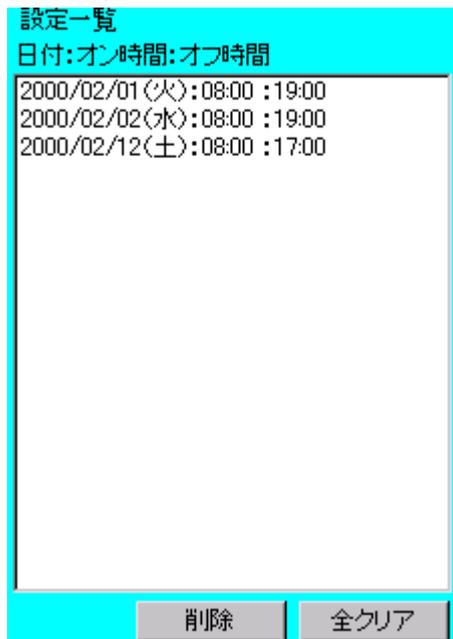
起動 / 停止時間の有効値は、00:00 ~ 23:59 です。

上記以外の無効値が入力された場合、変更前の有効値が反映されます。



スケジュールを設定しない場合は、チェックを外してください。

(2) 設定一覧



スケジュールを設定した日付、オン時間、オフ時間が表示されます。

設定一覧リストから選択した項目を [削除] ボタンを使い削除できます。

表示例では、

2000年 2月 1日 8:00 オン
19:00 オフ
2000年 2月 2日 8:00 オン
19:00 オフ
2000年 2月 12日 8:00 オン
17:00 オ

の設定を表示しています。

指定日スケジュールを設定した内容が表示されます。

(3) 削除ボタン

設定一覧のリスト中から、選択したスケジュールを削除します。

(4) 全クリアボタン

設定一覧の全リスト項目を削除します。

(5) 左記の日付へ移動ボタン

指定した日付の指定日スケジュールを先頭に表示します。

(6) OK ボタン

設定内容をWeb-tap に反映し、スケジュール設定画面のメイン画面へ移ります。

Web管理ツールの操作

(7) 戻るボタン

設定内容をWeb-tap に反映せずに、スケジュール設定画面のメイン画面へ移ります。

4.7.4 週間スケジュール

スケジュール設定画面の [週間] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

この画面では、週間スケジュールの設定を行います。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver:P0000984A				
コメント:	時刻: 18時 32分	ソフトウェア Ver:P0000985A				
基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定	SNMP設定	イベント設定	イベントが表示	UPS連携なし

スケジュール設定画面							
出力グループ1 週間							
	オン	オフ	0	6	12	18	24
日曜日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	08:00	17:00			
月曜日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	08:00	17:00			
火曜日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	08:00	17:00			
水曜日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	08:00	17:00			
木曜日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	08:00	17:00			
金曜日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	08:00	17:00			
土曜日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	08:00	17:00			

週間スケジュール動作について

指定日スケジュールは週間スケジュールより優先して実行されます。つまり、指定日スケジュールと週間スケジュールが同一日に設定されている場合は、指定日スケジュールが実行されます。

スケジュール設定後は、スケジュール確認機能でスケジュールの確認を行って下さい。

(1) スケジュール時間設定

チェックボックスをクリックしてチェックを付けることにより、時刻の設定が行えます。



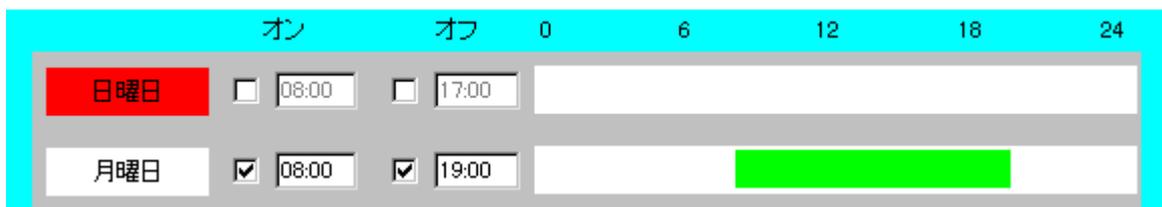
スケジュールを設定しない場合は、チェックを外してください。

起動 / 停止スケジュール時間入力時の注意

起動 / 停止時間の有効値は、00:00 ~ 23:59 です。

上記以外の無効値が入力された場合、変更前の有効値が反映されます。

(2) スケジュール確認タイムチャート



表示例では、月曜日のスケジュールとして、8:00オン、19:00オフを表示しています。

スケジュールのオン / オフで設定した時間が表示されます。

(3) 全クリアボタン

設定済みの週間スケジュールを初期化します。

(4) OK ボタン

設定内容をWeb-tap に反映します。

(5) 戻るボタン

設定内容をWeb-tap に反映せずに、スケジュール設定画面に戻ります。

4.7.5 スケジュール確認

スケジュール設定画面の [スケジュール確認] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

この画面では、週間、指定日スケジュールの設定状況を確認できます。

設置場所: 日付: 2000年 2月 10日 (木) ROM Ver: P0000984A
コメント: 時刻: 18時 35分 ソフトウェア Ver: P0000985A

基本設定 出力グループ設定 **スケジュール設定** SNMP設定 イベント設定 イベント追加表示 UPS連携なし

スケジュール設定画面
出力グループ1 スケジュール確認

	0	6	12	18	24
2000/02/10 (木)					
2000/02/11 (金)					
2000/02/12 (土)					
2000/02/13 (日)					
2000/02/14 (月)		■			
2000/02/15 (火)		■			
2000/02/16 (水)		■			
2000/02/17 (木)		■			
2000/02/18 (金)		■			
2000/02/19 (土)					

2000/02/10 左記日付へ移動 戻る

(1) スケジュール一覧表示

カレンダー順にスケジュール運転の設定状態をタイムチャートで表示します。

(2) 左記日付へ移動ボタン

設定した日付のスケジュールを表示するために使用します。

入力した日付のスケジュールが表示されます。

(3) 戻るボタン

スケジュール設定画面に戻ります。

4.8 SNMP 設定

メイン画面の [SNMP 設定] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

この画面で Web-tap 本体の SNMP に関する設定を行います。

設置場所:	日付: 2000年2月10日(木)	ROM Ver:P0000984A
コメント:	時刻: 18時36分	ソフトウェア Ver:P0000985A

基本設定 出力グループ設定 スケジュール設定 **SNMP設定** イベント設定 イベントの表示 UPS連携なし

SNMP設定画面

コミュニティ名 public	SNMP動作 <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
問い合わせ先	
トラップ送信先アドレス	SNMPアクセス制限
1: <input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> 全ての端末からのアクセスを許可する
2: <input type="text"/>	<input type="radio"/> 下記の端末からのアクセスを許可する
3: <input type="text"/>	1: <input type="text"/>
4: <input type="text"/>	2: <input type="text"/>
5: <input type="text"/>	3: <input type="text"/>
	4: <input type="text"/>
	5: <input type="text"/>

OK 戻る

(1) コミュニティ名

SNMPのコミュニティ名を記述します。

(2) 問い合わせ先

SNMPの問い合わせ先を記述します。

(3) SNMP動作

SNMPエージェント機能を動作させたいとき有効にします。

Web管理ツールの操作

(4) トラップ送信先アドレス

トラップ送信先のアドレスを記述できます。

最大 5 件までアドレスを記述できます。

(5) SNMP アクセス制限

Web-tap へ端末からのアクセス制限条件を設定できます。

(6) SNMP アクセス許可端末

Web-tap へ端末からのアクセスできる端末を設定できます。

最大 5 件までアドレスを記述できます。

(7) 設定内容の反映

[OK] ボタンを押すと、画面内の内容が Web-tap に反映されます。

[戻る] ボタンを押すと、画面内の内容を反映せずに、メイン画面へ戻ります。

4.9 イベント設定

メイン画面の [イベント設定] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

デフォルトでは WS スクリプト設定画面が表示されます。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A				
コメント:	時刻: 18時 38分	ソフトウェア Ver: P0000985A				
基本設定	出力グループ設定	スケジュール設定	SNMP設定	イベント設定	イベントログ表示	UPS連携なし

イベントログ/wsスクリプト設定画面		<input checked="" type="radio"/> WSスクリプト <input type="radio"/> イベントログ
接続装置の選択		
【出力1】 装置名称: WS-01 設置場所: コメント:	装置タイプ: WS(シリアル) 漢字コード: シフトJIS <input type="button" value="WSスクリプト選択画面"/>	
【出力2】 装置名称: PC-02 設置場所: コメント:	装置タイプ: PC(接点接続) <input type="button" value="WSスクリプト選択画面"/>	
【出力3】 装置名称: PC-03 設置場所: コメント:	装置タイプ: PC(接点接続) <input type="button" value="WSスクリプト選択画面"/>	
【出力4】 装置名称: HUB-04 設置場所: コメント:	装置タイプ: その他の装置 <input type="button" value="WSスクリプト選択画面"/>	<input type="button" value="戻る"/>

Web-tap 画面の表示例です。(Web-tap の場合、接続装置 8 個まで表示されます。)

4.9.1 WS スクリプト設定

接続装置に WS が接続されている場合、本画面にて WS へのログイン処理、イベント発生時に実行するスクリプト処理の記述を行います。

(1) WS スクリプト / イベントログ設定画面切り替え

WSスクリプト イベントログ

WS スクリプト設定、イベントログ設定の画面切替を行います。

デフォルトでは、WS スクリプト設定が表示されます。

Web管理ツールの操作

(2) 接続装置情報

【出力】	
装置名称:WS-01	装置タイプ:WS(リアル)
設置場所:	漢字コード:ｼﾌﾄJIS
コメント:	WSスクリプト選択画面

接続されているWS の情報 (接続装置設置で設定した内容)を表示します。

(3) WS スクリプト選択画面ボタン

WS スクリプト選択画面へ移ります。

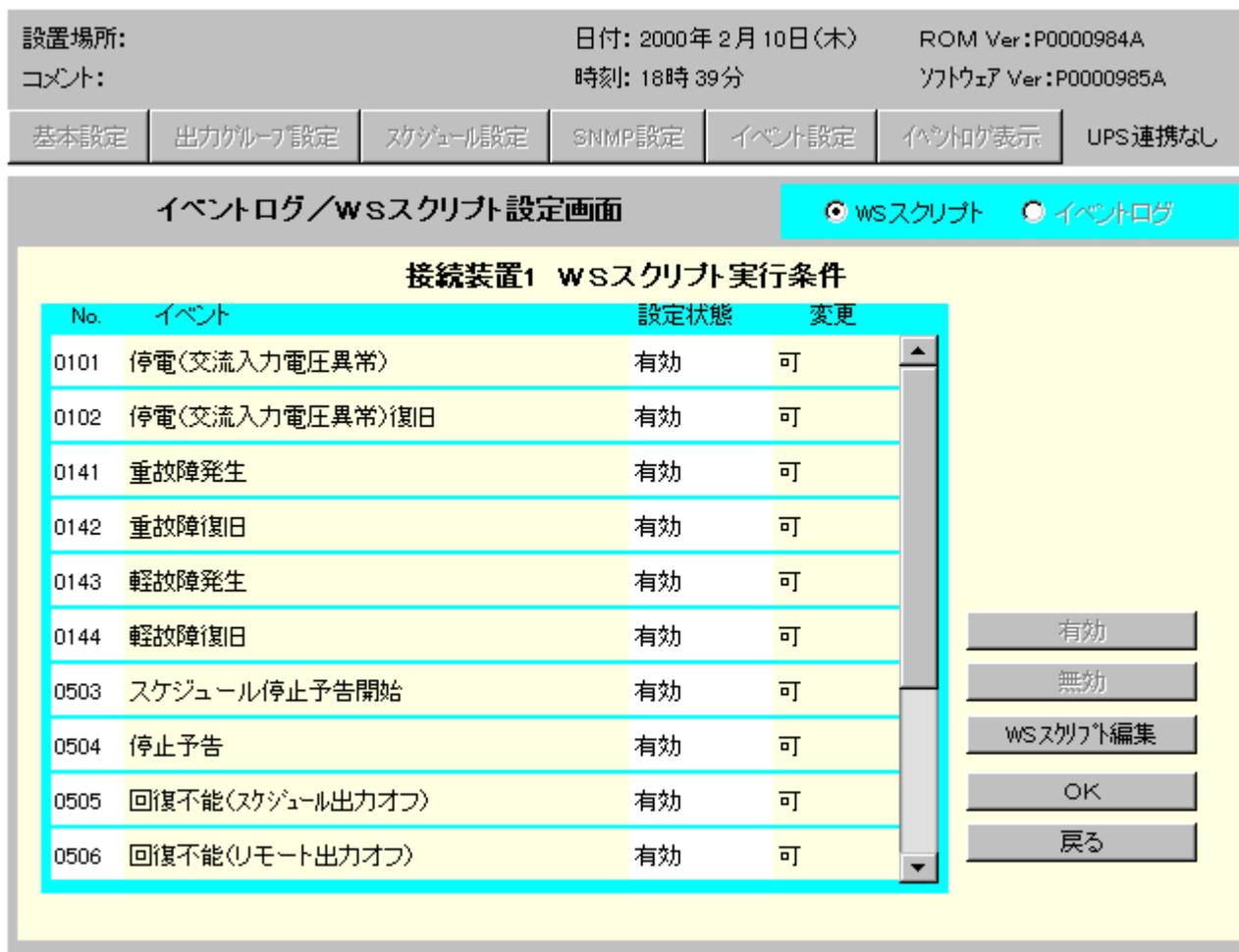
(4) 「戻る」ボタン

メイン画面 [システム制御画面]に戻ります。

4.9.2 WSスクリプト選択

イベント設定画面の [WSスクリプト選択設定] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

この画面でWeb-tap のイベント発生毎にスクリプトを実行するか否かを設定します。



(1) イベント一覧選択画面

0101	停電(交流入力電圧異常)	有効	可
------	--------------	----	---

WS スクリプトを設定できるイベントの一覧が表示されます。

マウスでクリックするとイベントを選択することができます。選択されると選択イベントは反転表示します。

(2) 有効ボタン

選択中のイベントに対して、イベントスクリプト実行設定を「有効」にします。

設定変更可のイベントに対して設定できます。

(3) 無効ボタン

選択中のイベントに対して、イベントスクリプト実行設定を「無効」にします。
設定変更可のイベントに対して設定できます。

(4) WS スクリプト編集ボタン

WS スクリプト編集画面へ移ります。

(5) OKボタン

設定内容をWeb-tap に反映します。

(6) 戻るボタン

設定内容をWeb-tap に反映せずに、イベント設定画面に戻ります。

4.9.3 WS スクリプト編集

WS スクリプト選択画面の [WSスクリプト編集] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

この画面では、WS へのログイン手続き、イベント発生時に WS で実行するスクリプトを記述します。

設置場所: 日付: 2000年2月10日(木) ROM Ver:P0000984A
コメント: 時刻: 18時41分 ソフトウェア Ver:P0000985A

基本設定 出力グループ設定 スケジュール設定 SNMP設定 イベント設定 イベントログ表示 UPS連携なし

イベントログ/wsスクリプト設定画面 WSスクリプト イベントログ

wsスクリプト編集 イベント名称: 停電(交流入力電圧異常)

WSログイン手続き(共通)

```
wait=ogin:  
send=ユーザ名  
wait=assword:  
send=パスワード  
wait=#
```

WSスクリプトを起動する

```
send=echo Power failure occurred.System will be stop  
sleep=5
```

OK 戻る

(1) イベント名称

選択されたイベントの名称が表示されます。

(2) WS ログイン手続き

WS ログイン時に共通して行う処理を入力します。

(3) WS スクリプト起動条件

イベント発生時、WS スクリプトを起動するか設定します。チェックボックスにチェックがある場合は、WS スクリプトを実行します。

Web管理ツールの操作

(4) WS スクリプト

イベント毎にWS で行うスクリプト処理を入力します。

(5) OK ボタン

設定内容をWeb-tap に反映します。

(6) 戻るボタン

設定内容をWeb-tap に反映せずに、イベント設定画面に戻ります。

(7) WS ログインスクリプトについて

WS ログイン時に共通して行う処理を入力します。

例) Wai ↵login

```
send=username
wait=password
send=pass
wait=>
send=wall -a << EOF
send=%MESSAGE%
send=EOF
```

コマンド

send	UNIX 側に送信する文字列を設定します。	例) send=shutdown
wait	UNIX 側が受信するときの文字列 (プロンプト) を設定します。	例) wait=login
sleep	何の処理も行わずに待機する時間を設定します。単位は秒 (s)	例) sleep=90
timeout	何らかの処理を実行後、その処理の終了を待つ時間を設定します。単位は、秒 (s) デフォルト値は、30 秒です。	例) timeout=60

「」前後のスペースの有無は、処理に影響ありません。

半角 498 文字 (全角 249 文字)以内で設定してください。

(8) WS スクリプトについて

選択したイベント固有のスクリプト(イベント毎に異なる処理)がある場合に、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、実行する処理内容を入力してください。

Web管理ツールの操作

例) wait=>

```
send=wall -a << EOF
```

```
send=%MESSAGE%
```

```
send= 5分後にシャットダウンします。
```

```
send=EOF
```

```
wait=>
```

```
send=shutdown -i0 -g300 -y
```

コマンド

send	UNIX 側に送信する文字列を設定し	例) send=shutdown ます。
wait	UNIX 側が受信するときの文字列 (プロンプト)を設定します。	例) wait=login
sleep	何の処理も行わずに待機する時間 を設定します。単位は秒(s)	例) sleep=90
timeout	何らかの処理を実行後、その処理 の終了を待つ時間を設定します。 単位は、秒(s) デフォルト値は、30 秒です。	例) timeout=60

「」前後のスペースの有無は、処理に影響ありません。

半角 298 文字 (全角 149 文字)以内で設定してください。

4.9.4 イベントログ設定

イベント設定画面の[イベントログ]切り替えにより下図の画面が表示されます。

Web-tap 本体で発生したイベントの記録条件を設定します。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver:P0000984A
コメント:	時刻: 18時 42分	ソフトウェア Ver:P0000985A

基本設定 出力グループ設定 スケジュール設定 SNMP設定 **イベント設定** イベントログ表示 UPS連携なし

イベントログ/wsスクリプト設定画面

WSスクリプト **イベントログ**

イベントログ条件

No.	イベント	設定状態	変更
0101	停電(交流入力電圧異常)	有効	不可
0102	停電(交流入力電圧異常)復旧	有効	不可
0141	重故障発生	有効	不可
0142	重故障復旧	有効	不可
0143	軽故障発生	有効	不可
0144	軽故障復旧	有効	不可
0503	スケジュール停止予告開始	無効	可
0504	停止予告	無効	不可
0505	回復不能(スケジュール出力オフ)	有効	不可
0506	回復不能(リモート出力オフ)	有効	不可

イベントログ記録 (標準設定)

イベントログ記録 (高度:UPS状態関連)

イベントログ記録 (高度:システム関連)

有効

無効

標準に戻す

OK

戻る

(1) WS スクリプト / イベントログ設定画面切り替え

WSスクリプト **イベントログ**

WS スクリプトを選択すると、WS スクリプト画面に切り替わります。

(2) イベントログ条件一覧選択

0101	停電(交流入力電圧異常)	有効	不可
------	--------------	----	----

各イベントの名称、設定状態、変更可否の一覧リストを表示しています。

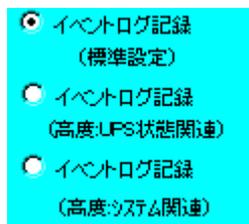
一覧リストをマウスクリックするとイベントが反転されます。選択中のイベントに対して、イベントログの

Web管理ツールの操作

「有効」、「無効」を設定できます。

「有効」の場合、Web-tap にイベントログが記録されます。

(3) イベントログ記録切り替え



各イベントログ記録に関連付けられたイベント項目の一覧画面に切り替えます。

(4) 有効ボタン

選択中のイベントに対して、イベントログを「有効」にします。

設定変更可のイベントに対して設定できます。

(5) 無効ボタン

選択中のイベントに対して、イベントログを「無効」にします。

設定変更可のイベントに対して設定できます。

(6) 標準に戻すボタン

表示中のイベントに対して、イベントログの設定値を初期値に戻します。

(設定変更可のイベント全てが対象になります。)

(7) OKボタン

設定内容をWeb-tap に反映します。

(8) 戻るボタン

設定内容をWeb-tap に反映せずに、イベント設定画面に戻ります。

4.10 イベントログ表示

Web-tap で発生したイベント(出力オン/オフ、障害発生など)、他の装置からのアクセス履歴などを時系列に表示します。

メイン画面の [イベントログ表示] ボタンを押したときに下図の画面が表示されます。

設置場所:	日付: 2000年 2月 10日 (木)	ROM Ver: P0000984A
コメント:	時刻: 19時 03分	ソフトウェア Ver: P0000985A

基本設定
出力グループ設定
スケジュール設定
SNMP設定
イベント設定
イベントログ表示
UPS連携なし

イベントログ表示画面

種別	イベント名	日時	関連装置アドレス	詳細内容
Inf	設定変更	2000/02/10-19:01:55	172.30.1.58	0x000c
Inf	設定変更	2000/02/10-18:33:56	172.30.1.58	0x0040
Inf	設定変更	2000/02/10-18:33:24	172.30.1.58	0x0040
Inf	設定変更	2000/02/10-18:18:24	172.30.1.58	0x8000
Inf	設定変更	2000/02/10-18:11:12	172.30.1.58	0x0010
Inf	設定変更	2000/02/10-18:10:42	172.30.1.58	0x0010
Inf	設定変更	2000/02/10-18:10:21	172.30.1.58	0x0010
Inf	設定変更	2000/02/10-18:09:53	172.30.1.58	0x1810
Inf	設定変更	2000/02/10-18:08:28	172.30.1.58	0x8000
Inf	出力オン	2000/02/10-18:05:48	0.0.0.0	OUTLET 2
Inf	出力オン要求受付	2000/02/10-18:05:48	172.30.1.58	
Inf	出力オン	2000/02/10-18:05:35	0.0.0.0	OUTLET 1
Inf	出力オン要求受付	2000/02/10-18:05:35	172.30.1.58	
Inf	出力オフ	2000/02/10-17:02:00	0.0.0.0	OUTLET 4
Inf	出力オフ	2000/02/10-17:02:00	0.0.0.0	OUTLET 1
Inf	出力オフ	2000/02/10-17:02:00	0.0.0.0	OUTLET 3
Inf	出力オフ	2000/02/10-17:02:00	0.0.0.0	OUTLET 2
Inf	回復不能 (スケジュール出力オフ)	2000/02/10-17:00:00	0.0.0.0	スケジュール G1
Inf	設定変更	2000/02/10-16:50:50	172.30.1.58	0x0020
Inf	設定変更	2000/02/10-16:50:45	172.30.1.58	0x0040
Inf	設定変更	2000/02/10-16:50:19	172.30.1.58	0x8060
Inf	コールドスタート	2000/02/10-16:47:56	0.0.0.0	
Inf	プログラム更新要求受付	2000/02/10-16:47:40	172.30.1.58	

種別 Information(Inf) Warning(War) Error(Err)

履歴の再読込
戻る

(1) 「履歴の再読込」ボタン

最新のイベント情報を読み込み、再表示します。

イベント発生による表示の自動更新は行わないので、必要に応じて再読込を行って下さい。

(2) 「戻る」ボタン

メイン画面 [システム制御画面] に戻ります。

5. Web管理ツール以外のソフトウェアを利用した管理

5.1 SAN GUARD システム管理ツール

5.1.1 概要

SAN GUARD UPS管理システムで提供されるシステム管理ツールにより、Web-tap の各種設定、制御など Web 管理ツールと同等の操作を行うことができます。さらに、システム管理ツールを利用しますと、複数 Web-tap に対する一括設定、一括制御、また、Web-tap のROMプログラムやWebプログラムを更新することができます。また、UPS とシリアルで接続している場合は、UPS の状態を監視することができます。

情報

SAN GUARD UPS管理システムのシステム管理ツールの操作方法につきましては「ネットワーク対応UPS管理システム **SAN GUARD** 取扱説明書」を参照してください。

5.2 SNMP マネージャ

5.2.1 概要

Web-tap は SNMP エージェント機能 (UPS 標準 MIB: RFC1628) をサポートしています。

初期設定では全ての SNMP マネージャからのアクセスを受け付けますので、特に設定変更を行わなくても Web-tap の状態監視、および制御ができます。トラップ先の指定やコミュニティの設定などは、Web管理ツールからも行なうことができます。

さらに Web-tap においては、セキュリティを向上するために、SNMP マネージャのアドレスを制限することができます。これにより、管理者以外の不正なコンピュータからのアクセスを防ぐことができます。

5.2.2 SNMPの設定

- (1) Web管理ツールにより、SNMPの各種設定を行うことができます。設定方法については「4.8 SNMP 設定」、または「5.3.3 基本設定」の「(4)SNMP の設定」を参照してください。

5.2.3 出力の制御について

- (1) SNMPマネージャからUPS停止要求を受信した場合、出力オンしている全ての出力をオフすることができます。このとき各出力に接続されたコンピュータに対して、設定された「シャットダウン遅延時間」、「出力オフ遅延時間」にしたがってシャットダウン処理を行い、出力をオフします。
- (2) SNMPマネージャからUPS起動要求を受信した場合、接続装置が登録されている出力に対して、出力オフしている全ての出力をオンすることができます。このとき出力ごとに設定されている「出力オン遅延時間」にしたがって出力をオンします。

情報

SNMP マネージャからの出力制御は、一括でのON/OFFしか行えません。
個別またはグループ単位の制御はできませんのでご注意ください。

5.2.4 状態監視について

- (1) SNMPマネージャに Web-tap の状態を表示することができます。全ての出力がオフしていれば「停止」、1つ以上の出力がオンしていれば「起動」状態となります。
- (2) UPS との連携が「シリアル接続」と設定(5項(6)を参照)されている場合、SNMP マネージャでUPSの計測値を表示することができます。

5.3 シリアル端末

5.3.1 概要

Web-tap の管理者アカウント情報を忘れてしまった場合や、ネットワーク環境の都合により出荷時のIPアドレス**192.168.1.1** と通信できない場合などは、PC 標準のハイパーターミナルなどの端末ソフトウェアを利用して設定を行ないます。接続方法としては、添付のケーブル、または市販の **D-SUB 9ピン** のクロスケーブルで、Web-tap の設定用コネクタとPC を接続します。

主な設定は以下のとおりです。

(1) 通信ポート

- ・伝送速度： 9600bps
- ・データビット長： 8ビット
- ・パリティ： なし
- ・ストップビット： 1ビット
- ・フロー制御： なし

(2) 文字変換

(A) 送信時

- ・行末に改行文字を付けない。
- ・ローカルエコーしない。

(B) 受信時

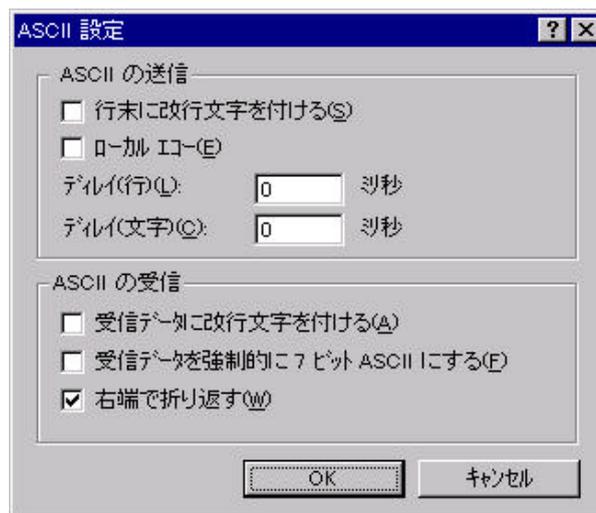
- ・受信データに改行文字を付けない。

Web管理ツール以外のソフトウェアを利用した管理

ハイパーターミナルでの設定例を示します。



ハイパーターミナル (ポート設定)画面



ハイパーターミナル (ASCII 設定)画面

5.3.2 メインメニュー

Web-tap と接続されると以下のようなメニューが表示されます。



メニュー項目の内容を以下に示します。

メインメニュー	内容 / サブメニュー	参照ページ
1.Configuration	基本設定メニュー を表示します。	88
	<ul style="list-style-type: none"> 1.Network 89 2.Account 91 3.Control Configuration 92 4.SNMP 94 5.Unit Information 98 6.PC Output Signal 99 7.Exit 	
2.Schedule	スケジュール設定メニュー を表示します。	100
	<ul style="list-style-type: none"> 1.Condition 102 2.Week Schedule 103 3.Day Schedule 105 4.Exit 	
3.Contorol	制御メニュー を表示します。	108
	<ul style="list-style-type: none"> 1.On 109 2.Off 110 3.Reset 111 4.Exit 	
4.Display	表示メニュー を表示します。	112
	<ul style="list-style-type: none"> 1.UPS Condition / Measuring Value 113 2.Unit Board Information 114 3.Event Log 115 4.Exit 	
5.DateTime	Web-tap の時計を設定します。	116

メインメニュー	内容 / サブメニュー	参照ページ
6.Connection Device	Web-tap に接続する装置情報を登録および変更します。	117
	1.Add 2.Delete 3.Event 4.Device Information 5.Control Configuration 6.Change Of Group 7.Exit	119 127 129 136 138 141
7.Event	イベント設定メニューを表示します。	142
	1.Event Log 2.Exit	143
8.Group	出力グループ情報設定メニューを表示します。	145
	1.Group Name 2.Comment 3.Condition Of Outlet At Power On 4.Exit	146 147 148
9.Exit	端末による操作を終了します。	

5.3.3 基本設定メニュー

メインメニューより[1 . Configuratioin]を選択すると以下のようなメニューが表示されます。

```

Configuration Menu
1.Network
2.Account
3.Control Configuration
4.SNMP
5.Unit Information
6.PC Output Signal
7.Exit
MT Agent>
    
```

メニュー項目の内容を以下に示します。

基本設定メニュー	内容	参照ページ
1.Network	Web-tap を LAN 接続するために必要なアドレスの設定をします。	89
2.Account	LAN 経由で Web-tap の設定を行なう場合のユーザ名およびパスワードを設定します。 ユーザ名は半角英数字 1文字以上 20文字以内を指定してください。 パスワードは半角英数字 20文字以内を指定してください。 なおパスワードについては、大文字小文字を区別しません。	91
3.Control Configuration	Web-tap のシャットダウン制御時間に関する設定をします。	92
4.SNMP	SNMP による制御に関する	94
5.Unit Information	装置の設置場所とコメントを設定します。	98
6.PC Output Signal	PC 制御用の接点信号の極性を設定します。	99
7.Exit	メインメニューに戻ります。	

(1) ネットワークの設定

ネットワーク情報の設定方法について示します。

基本設定メニューより [1.Network]を選択すると現在のネットワークの設定内容が表示され、続いてネットワークメニューが表示されます。

```
Network Information
DHCP                :Disable
UPS Address         :192.168.1.1
Subnet Mask        :255.255.255.0
Router Address     :0.0.0.0
DNS Server Address :0.0.0.0

1.IP Address
2.Router Address
3.DNS Server Address
4.Exit
MT Agent>
```

[1.IP Address]を選択すると、IPアドレスの入力モードになります。

DHCP、IP アドレス、サブネットマスクの入力が順次促されます。

```
Select DHCP Mode.
1.Disable
2.Enable
MT Agent>1

Input IP Address.
MT Agent>172.30.1.20

Input SubnetMask.
MT Agent>255.255.0.0
OK
```

DHCP を無効にする場合 (IP アドレス固定)は 「1.Disable」、有効にする場合は 「2.Enable」を選択してください。

[2.RouterAddress]を選択すると、ルータアドレスの入力モードになります。

使用しない場合は**0.0.0.0**を指定してください。

```
Input Router Address.  
MT Agent>172.30.1.200
```

DHCP から取得できた場合、現在の設定は更新されます。

尚、IPアドレスの設定でDHCPを有効(Enable)とした場合は、設定の必要はありません。

[3.DNS Server Address]を選択すると、DNS サーバアドレスの入力モードになります。

使用しない場合は**0.0.0.0**を指定してください。

```
Input DNS Server Address.  
MT Agent>172.30.1.100
```

DHCP から取得できた場合、現在の設定は更新されます。

尚、IPアドレスの設定でDHCPを有効(Enable)とした場合は、設定の必要はありません。

(2) アカウントの設定

アカウントの設定方法について示します。

基本設定メニューより [2.Account] を選択すると現在のアカウントの設定内容が表示され、続いてアカウントの入力モードになります。

```
Account Information
User Name : MtAdmin
Password : *****

Input User Name.
MT Agent>
```

アカウントに続いて、パスワード、パスワードの確認入力が促されます。

```
Input User Name.
MT Agent>Administrator

Input Password.
MT Agent>

Input Password Again.
MT Agent>
OK
```

パスワードの入力とパスワードの確認入力は、画面にエコーバックされません。

正しく入力された場合は、「OK」が表示されます。

(3) Web-tap シャットダウン等制御時間の設定

Web-tap シャットダウン等制御時間の設定方法について示します。

基本設定メニューより [3.Control Configuration]を選択すると現在の設定内容が表示され、
続いて設定メニューが表示されます。

```
Control Configuration
Connection With UPS      : None
UPS Auto Stop            : Enable
Power Failure Confirmation Time : 60(Sec)

1.Connection With UPS
2.UPS Auto Stop
3.Power Failure Confirmation Time
4.Exit
MT Agent>
```

[1.Connection With UPS]を選択すると、UPS との連携の入力モードになります。

```
Select No.
1.None
2.Signal
3.Serial
4.Exit
MT Agent>
```

[1.None]を選択すると、UPS との連携なしとなります。

[2.Signal]を選択すると、UPS との連携は「接点接続」となります。

[3.Serial]を選択すると、UPS との連携は「シリアル接続」となります。

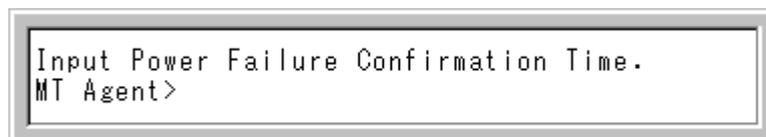
[2.UPS Auto Stop]を選択すると、停電時 UPS 自動停止有無の入力モードになります。

[1.Enable]を選択すると、UPS との連携時、停電が発生した場合に停止シーケンスに従って
遅延処理が行われたのちに UPS を自動停止します。

[2.Disable]を選択すると、停電後も出力が継続します。

```
Select No.
1.Enable
2.Disable
3.Exit
MT Agent>
```

[3.Power Failure Confirmation Time] を選択すると、停電確認時間の入力モードになります。



～ 各設定後は、設定内容が表示されますので、入力した時間等が正しく登録されていることを確認してください。

(4) SNMPの設定

SNMPの設定方法について示します。

基本設定メニューより [4.SNMP] を選択すると現在の設定内容が表示され、続いて設定メニューが表示されます。

```
SNMP Infomation
SNMP Agent      : Enable
Community      : public
Trap Address    : 1.NONE
                2.NONE
                3.NONE
                4.NONE
                5.NONE
Access Limitation : Disable
Access Address  : 1.NONE
                2.NONE
                3.NONE
                4.NONE
                5.NONE

1.SNMP Agent
2.Community
3.Trap Address
4.Access Limitation
5.Access Address
6.Exit
MT Agent>
```

[1.SNMP Agent]を選択すると、SNMP 動作有無の入力モードになります。

```
Select No.  
1.Enable  
2.Disable  
MT Agent>
```

[1.Enable]を選択すると、SNMP の動作が有効になります。

[2.Disable]を選択すると、SNMP の動作は無効になります。

[2.Community]を選択すると、コミュニティ名の入力モードになります。

```
Input Community.  
MT Agent>
```

[3.Trap Address]を選択すると、編集メニューが表示されます。

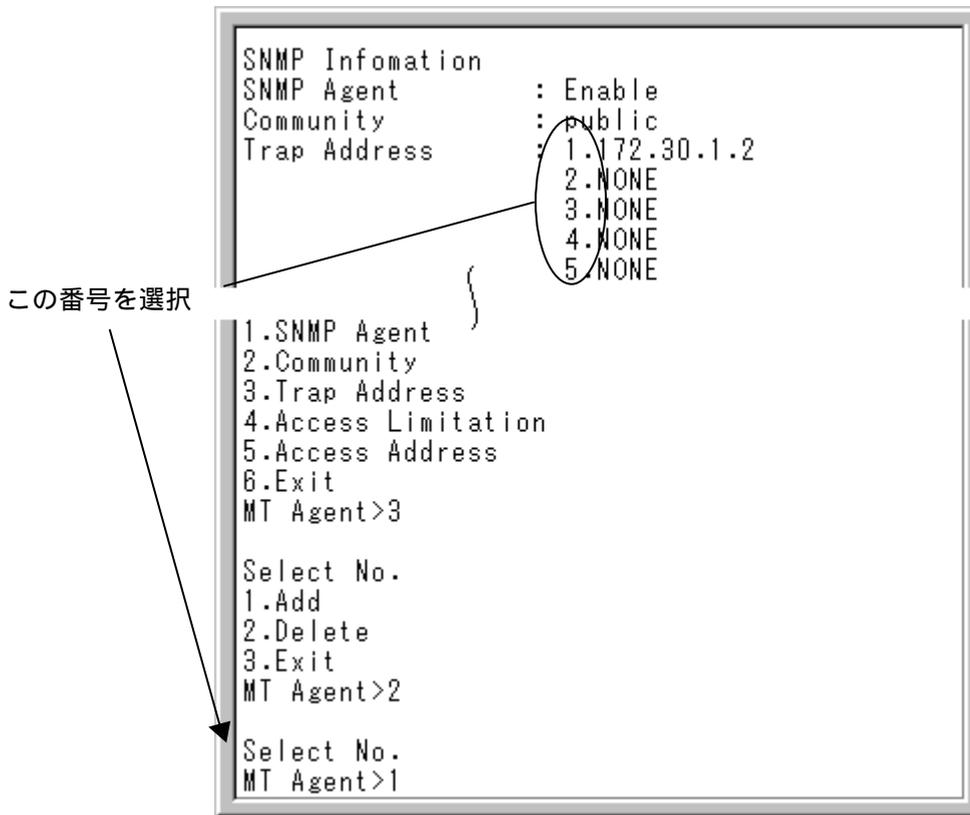
```
Select No.  
1.Add  
2.Delete  
3.Exit  
MT Agent>
```

で [1.Add]を選択すると、トラップ先アドレスの入力モードになります。

トラップ先アドレスは、5件まで登録できます。

```
Input Trap Address.  
MT Agent>
```

で [2.Delete] を選択すると、番号の入力がうながされます。



トラップ送信先アドレスの一覧から該当する番号を選択してください。

[4.Access Limitation] を選択すると、SNMP アクセス制限の入力モードになります。



[1.Enable] を選択すると、全ての端末からのアクセスが許可されます。

[2.Disable] を選択すると、指定した端末からのみアクセスが許可されます。

[5.Access Address] を選択すると、編集メニューが表示されます。

で [1.Enable] を選択した場合は、設定の必要はありません。

```
Select No.
1.Add
2.Delete
3.Exit
MT Agent>
```

で [1.Add] を選択すると、アクセス許可端末のアドレスの入力モードになります。アドレスは、5件まで登録できます。

```
Input Access Address.
MT Agent>
```

で [2.Delete] を選択すると、番号の入力がうながされます。

```
SNMP Infomation
Access Limitation : Disable
Access Address : 1.aaa
                2.NONE
                3.NONE
                4.NONE
                5.NONE
1.SNMP Agent
2.Community
3.Trap Address
4.Access Limitation
5.Access Address
6.Exit
MT Agent>5

Select No.
1.Add
2.Delete
3.Exit
MT Agent>2

Select No.
MT Agent>1
```

この番号を選択

アクセス許可端末のアドレスの一覧から該当する番号を選択してください。

～ 各設定後は、設定内容が表示されますので、入力した内容が正しく登録されていることを確認してください。

(5) 装置情報の設定

装置情報の設定方法について示します。

基本設定メニューより [5.Unit Information] を選択すると現在の設定内容が表示され、続いて設定メニューが表示されます。

```
Unit Information
Location:
Comment :

1.Location
2.Comment
3.Exit
MT Agent>
```

[1.Location]を選択すると、設置場所の入力モードになります。

```
Input Location.
MT Agent>2F-Labo
```

[2.Comment]を選択すると、コメントの入力モードになります。

```
Input Comment.
MT Agent>ForTestEnv
```

各入力後は、設定内容が表示されますので、入力情報が正しく登録されていることを確認してください。

(6) P C 制御用接点信号の極性の設定

P C 制御用接点信号の極性の設定方法について示します。

基本設定メニューより [6.PC Output Signal] を選択すると現在の設定内容が表示され、続いて出力コンセントの番号の入力をうながすメッセージが表示されます。

```
Outlet  Batt Low  Power Failure
-----
1.      HIGH     LOW
2.      HIGH     LOW
3.      HIGH     LOW
4.      HIGH     LOW

Select Outlet No.
MT Agent>
```

出力コンセントの番号を入力すると、接点信号の選択メニューが表示されます。

```
Signal Menu.
1.Batt Low
2.Power Failure
3.Exit
MT Agent>
```

[1. Batt Low]を選択すると、バッテリー電圧低下信号の入力モードになります。

[2. Power Failure]を選択すると、停電信号の入力モードになります。

接点信号選択後は接点信号の正 / 負を設定します。

```
Select No.
1.HIGH
2.LOW
3.Exit
MT Agent>
```

各入力後は、設定内容が表示されますので、入力情報が正しく登録されていることを確認してください。

5.3.4 スケジュール設定メニュー

メインメニューより [2.Schedule] を選択すると出力グループ情報が表示され、続いて出力グループ番号の入力をうながすメッセージが表示されます。

```
Schedule Information
Group Name          Outlet
-----
1.   group1         1
2.   group2         2
3.   group3         3
4.   group4         4

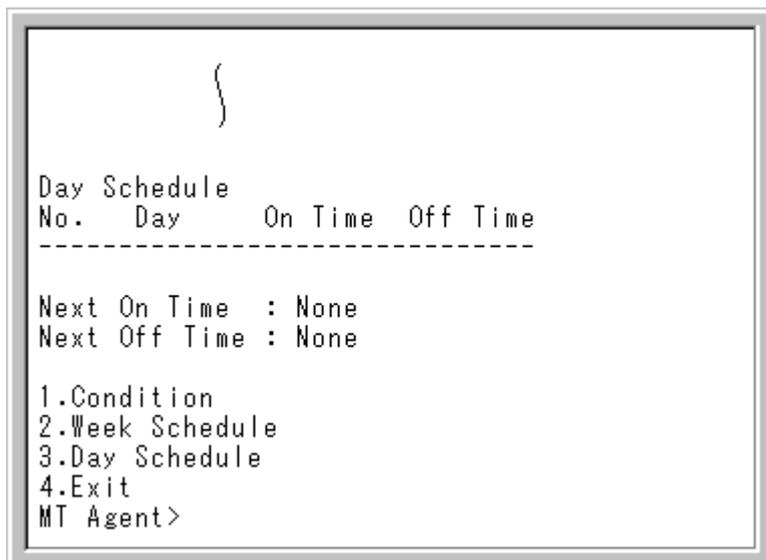
Select Group No.
MT Agent>1
```

出力グループ番号を選択すると現在のスケジュールの設定内容が表示され、続いてメニューが表示されます。

```
-----
Group No.1
-----
Schedule Information
Condition : OFF

Week Schedule
Week On Time  Off Time
-----
Sun   None    None
Mon   None    None
Tue   None    None
Wed   None    None
Thu   None    None
Fri   None    None
Sat   None    None
-----

-----MORE-----
```



ページに表示可能な行数で一時停止します。[Enter]キーを押下すると続きが表示されます。

メニュー項目の内容を以下に示します。

スケジュール設定メニュー	内容	参照ページ
1.Condition	スケジュールによる運転の有無を設定します。	102
2.Week Schedule	週間の運転スケジュールを設定します。	103
3.Day Schedule	指定日の運転スケジュールを設定します。 任意の時間設定が50件まで登録できます。 尚、週間スケジュールと組み合わせいる場合には、 週間スケジュールの抑制(起動/停止を無効化)の 設定が50件まで登録できます。	105
4.Exit	メインメニューに戻ります。	

(1) スケジュール運転の有無の設定

スケジュール運転有無の設定方法について示します。

スケジュール設定メニューから [1.Condition]を選択してください。

```
1.Condition
2.Week Schedule
3.Day Schedule
4.Exit
MT Agent>1

Select No.
1.ON
2.OFF
3.Exit
MT Agent>
```

「1.ON」を選択すると、週間および指定日で設定したスケジュールに従って運転を行います。

「2.OFF」を選択すると、スケジュール運転は行いません。

週間および指定日でスケジュールが設定されていても無視されます。

スケジュールが有効になると、週間または指定日スケジュールのうち最近の起動 / 停止予定時刻が表示されます。

```
Schedule Information
Condition : ON
}
Next On Time : 2000/ 7/30 8:00
Next Off Time : 2000/ 7/30 17:00
```

(2) 週間スケジュールの設定

週間スケジュールの設定方法について示します。

スケジュール設定メニューから [2.Week Schedule] を選択してください。

```
1.Condition
2.Week Schedule
3.Day Schedule
4.Exit
MT Agent>2
```

曜日の選択肢が表示されますので、スケジュールを設定したい曜日の番号を選択してください。

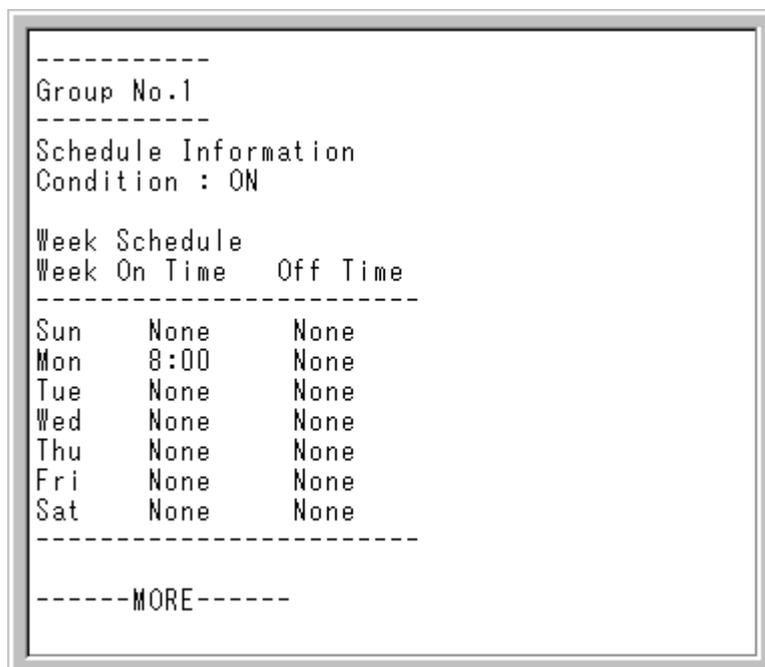
```
Select Week.
1.Sun
2.Mon
3.Tue
4.Wed
5.Thu
6.Fri
7.Sat
MT Agent>2
```

[1.OFF Time]を選択した場合は出力コンセントの停止時刻、
[2.ON Time]を選択した場合は出力コンセントの起動時刻の入力モードになります。

```
Select Schedule Type.
1.OFF Time
2.ON Time
MT Agent>2

Input Time.
MT Agent>
```

時刻が設定されると、スケジュールの一覧が表示されます。
設定した内容が正しく登録されていることを確認してください。



```
-----  
Group No.1  
-----  
Schedule Information  
Condition : ON  
  
Week Schedule  
Week On Time    Off Time  
-----  
Sun    None        None  
Mon    8:00        None  
Tue    None        None  
Wed    None        None  
Thu    None        None  
Fri    None        None  
Sat    None        None  
-----  
  
-----MORE-----
```

起動/停止スケジュール時間入力時の注意

起動/停止時間の有効値は、00:00 ~ 23:59 です。

(3) 指定日スケジュールの設定

指定日スケジュールの設定方法について示します。

スケジュール設定メニューから [3.Day Schedule]を選択してください。

```
1.Condition
2.Week Schedule
3.Day Schedule
4.Exit
MT Agent>3
```

編集メニューが表示されますので、該当する番号を選択してください。

```
Select No.
1.Add
2.Delete
MT Agent>
```

追加する場合は、 ~ の手順に従って処理してください。

削除する場合は、 ~ の手順に従って処理してください。

[1.Add]を選択すると、日付の入力モードになります。

```
Input Day.
MT Agent>00/8/1
```

年は西暦の下 2桁で入力してください。

起動時刻の設定メニューが表示されます。

```
Select On Schedule.  
1.Set Time  
2.Repression  
3.None  
MT Agent>
```

[1.Set Time]を選択すると、時刻の入力モードになります。

```
Input Time.  
MT Agent>7:00
```

の画面で [2.Repression] を選択すると、指定日に該当する週間スケジュールの起動が抑制されます。

または が設定されると、続けて停止時刻の設定メニューが表示されます。起動時刻の設定と同様に時刻の入力または抑制の設定をしてください。

また、起動 / 停止の何れかの設定をしない場合は、設定メニューから [3.None] を選択してください。

指定日のスケジュールが設定されると、スケジュール一覧が表示されます。

設定した内容が正しく登録されていることを確認してください。

```
Schedule Information  
Condition : ON  
}  
Day Schedule  
No. Day On Time Off Time  
-----  
1. 2000/07/31 XX:XX XX:XX  
2. 2000/08/01 07:00 --:--
```

XX:XX は抑制
--:-- は設定なし
を示します。

[2.Delete]を選択すると、番号の入力がうながされます。スケジュール一覧の指定日スケジュールから該当する番号を選択してください。

Schedule Information
Condition : ON }

No.	Day	On Time	Off Time
1.	2000/07/31	XX:XX	XX:XX
2.	2000/08/01	07:00	--:--

Next On Time : 2000/ 8/ 1 7:00
Next Off Time : None

1.Condition
2.Week Schedule
3.Day Schedule
4.Exit
MT Agent>3

Select No.
1.Add
2.Delete
MT Agent>2

Select No.
MT Agent>1

この番号を選択

削除確認で [1.Yes] を選択してください。

```
Delete OK?  
1.Yes  
2.No  
MT Agent>1  
OK
```

削除が実行されると、スケジュール一覧が表示されます。指定したスケジュールが削除されていることを確認してください。

5.3.5 制御メニュー

メインメニューより[3.Control]を選択すると出力コンセントの情報が表示され、続いて出力コンセント番号の入力をうながすメッセージが表示されます。

```

Outlet Information
Outlet Type      Status    On Delay  Off Delay  Shutdown Delay
-----
1.  PC(SERIAL)   OFF       5         10         0
2.  WS(SERIAL)   OFF      10        15         0
3.  OTHER       OFF      15        20         0
4.  OTHER       OFF      20        25         0
-----
Select Outlet No.(All Outlet = 9999)
MT Agent>
    
```

出力コンセント番号を選択すると、以下のようなメニューが表示されます。なお、**9999** を入力した場合には全出力コンセントの一括制御となります。

```

-----
Outlet No.1
-----
1.On
2.Off
3.Reset
4.Exit
MT Agent>
    
```

メニュー項目の内容を以下に示します。

制御メニュー	内容	参照ページ
1.On	出力コンセントをオンします。	109
2.Off	出力コンセントをオフします。	110
3.Reset	出力コンセントをリセットします。	111
4.Exit	メインメニューに戻ります。	

(1) 出力オン

出力オン方法について示します。

制御メニューから [1.On] を選択してください。

```
-----  
Outlet No.1  
-----  
1.On  
2.Off  
3.Reset  
4.Exit  
MT Agent>1
```

「1.Yes」を選択すると、出力をオンすることができます。

```
On OK ?  
1.Yes  
2.No  
3.Exit  
MT Agent>1  
OK
```

(2) 出力オフ

出力オフ方法について示します。

制御メニューから [2.Off] を選択してください。

```
-----  
Outlet No.1  
-----  
1.On  
2.Off  
3.Reset  
4.Exit  
MT Agent>2
```

「1.Yes」を選択すると、出力をオフすることができます。

```
Off OK ?  
1.Yes  
2.No  
3.Exit  
MT Agent>1  
OK
```

(3) リセット

リセット方法について示します。

制御メニューから [3.Reset] を選択してください。

```
-----  
Outlet No.1  
-----  
1.On  
2.Off  
3.Reset  
4.Exit  
MT Agent>3
```

リセット時間を入力し、「1.Yes」を選択すると、リセットすることができます。なお、リセット時間を入力しないで「1.Yes」を選択すると、リセット時間はデフォルトの**30秒**となります。

```
Reset Time 30(Sec)  
Input Reset Time.  
MT Agent>10  
  
Reset OK ?  
1.Yes  
2.No  
3.Exit  
MT Agent>1  
OK
```

5.3.6 表示メニュー

メインメニューより[4.Display]を選択すると以下のようなメニューが表示されます。

```

Display Menu
1.UPS Condition/ Measuring Value
2.Unit Information
3.Event Log
4.Exit
MT Agent>
    
```

メニュー項目の内容を以下に示します。

表示メニュー	内容	参照ページ
1.UPS Condition/ Measuring Value	UPSとシリアル接続をしている場合に、UPSの状態および計測値を表示します。	113
2.Unit Board Information	装置情報 (ROMバージョンとMACアドレス) を表示します。	114
3.Event Log	イベントログを表示します。	115
4.Exit	メインメニューに戻ります。	

(1) 状態・計測値の表示

状態・計測値の表示方法について示します。

表示メニューから [1. UPS Condition/Measuring Value]を選択してください。

```
Display Menu
1.UPS Condition/ Measuring Value
2.Unit Information
3.Event Log
4.Exit
MT Agent>1

SCI With UPS(Status) : Normal
SCI With UPS(Ver)    : 2.0
UPS Condition
Interchange Input Voltage      : Normal
Bypass Condition               : Normal
Output Condition               : ON
Syncro Condition               : Sync
Inverter Drive                 : Yes
Bypass Drive                   : No
Battery Drive                   : No
Standby                        : No
It Waits For The UPS Stop, Condition : No
Battery Life Condition         : Error
Battery Voltage                 : Normal
Battery Test Condition         : No
Battery Test OK                : No
Overload                       : No
Battery Temperature            : Normal
Charger                        : Normal
Fin Temperature                 : Normal
-----MORE-----
```

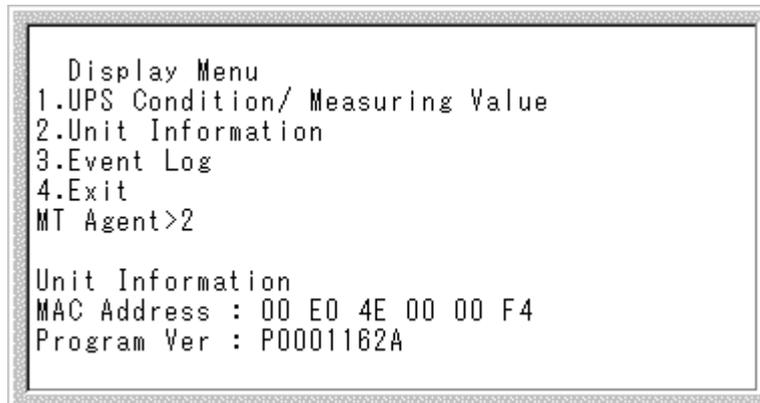
ページに表示可能な行数で一時停止します。[Enter]キーを押下すると続きが表示されます。

UPS との連携が「シリアル接続」以外の場合は、「**Non Support**」を表示します。

(2) 装置情報の表示

装置情報の表示方法について示します。

表示メニューから [2.Unit Information]を選択してください。



```
Display Menu
1.UPS Condition/ Measuring Value
2.Unit Information
3.Event Log
4.Exit
MT Agent>2

Unit Information
MAC Address : 00 E0 4E 00 00 F4
Program Ver : P0001162A
```

(3) イベントログの表示

イベントログの表示方法について示します。

表示メニューから [3.Event Log] を選択してください。

```
Display Menu
1.UPS Condition/ Measuring Value
2.Unit Information
3.Event Log
4.Exit
MT Agent>3

Type No.  DateTime                Address                Detail
-----
War 0101  1900/01/00  00:00:00             0.  0.  0.  0
Inf 0553  2000/07/28  10:05:34             0.  0.  0.  0  OUTLET 4
Inf 0553  2000/07/28  10:05:29             0.  0.  0.  0  OUTLET 3
Inf 0553  2000/07/28  10:05:24             0.  0.  0.  0  OUTLET 2
Inf 0553  2000/07/28  10:05:19             0.  0.  0.  0  OUTLET 1
Inf 0506  2000/07/28  10:05:08             0.  0.  0.  0  リモート出
Inf 0506  2000/07/28  10:05:08             0.  0.  0.  0  リモート出
Inf 0506  2000/07/28  10:05:08             0.  0.  0.  0  リモート出
Inf 0506  2000/07/28  10:05:08             0.  0.  0.  0  リモート出
Inf 0352  2000/07/28  10:05:08             172. 30.  1. 58
Inf 0552  2000/07/28  10:04:31             0.  0.  0.  0  OUTLET 4
Inf 0552  2000/07/28  10:04:26             0.  0.  0.  0  OUTLET 3
Inf 0552  2000/07/28  10:04:21             0.  0.  0.  0  OUTLET 2
Inf 0552  2000/07/28  10:04:16             0.  0.  0.  0  OUTLET 1
Inf 0351  2000/07/28  10:04:10             172. 30.  1. 58
Inf 0553  2000/07/28  10:04:01             0.  0.  0.  0  OUTLET 4
Inf 0553  2000/07/28  10:03:56             0.  0.  0.  0  OUTLET 3
Inf 0553  2000/07/28  10:03:51             0.  0.  0.  0  OUTLET 2
Inf 0553  2000/07/28  10:03:46             0.  0.  0.  0  OUTLET 1
Inf 0506  2000/07/28  10:03:36             0.  0.  0.  0  リモート出
-----MORE-----
```

ページに表示可能な行数で一時停止します。[Enter]キーを押下すると続きが表示されます。

5.3.7 時計設定メニュー

Web-tap の時計の設定方法について以下に示します。

メインメニューから [5.DateTime]を選択してください。

```
Main Menu
1.Configuration
2.Schedule
3.Control
4.Display
5.DateTime
6.Connection Device
7.Event
8.Group
9.Exit
MT Agent>5
```

現在の日時が表示され、入力モードになります。

```
MT Agent>5

Now DateTime :2000/ 7/27 19:25:56

Input DateTime.
MT Agent>2000/8/1 15:10:0
OK
```

入力形式は、「年(4桁)/月/日」時:分:秒」です。

5.3.8 装置接続設定メニュー

メインメニューより[6.Connection Device]を選択すると、現在の登録装置情報が表示されます。

```
MT Agent>6
Connection Device

1:PC1(PC-SERIAL)
Location          :
Comment          :
On Delay Time    :5(Sec)
Off Delay Time   :10(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.        :1

2:WS1(WS-SERIAL)
Baud Rate :9600bps   Data Bit :8bit   Flow :None
Parity    :None     Stop Bit :1
Kanji     :SHIFT JIS
Location  :
Comment   :
On Delay Time :10(Sec)
Off Delay Time :15(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.    :2
-----MORE-----
```

ページに表示可能な行数で一時停止します。[Enter]キーを押下すると続きが表示されます。

出力コンセント番号を選択すると、以下のような接続設定メニューが表示されます。

```
Select Connection Device No.
MT Agent>1

-----
Connection Device No.1
-----

Connection Device Menu
1.Add
2.Delete
3.Event
4.Device Information
5.Control Configuration
6.Change Of Group
7.Exit
MT Agent>
```

メニュー項目の内容を以下に示します。

装置接続設定メニュー	内容	参照ページ
1.Add	コンピュータの登録をします。 ここで登録できるコンピュータは、シリアル接続のPCまたはシリアル接続のWS、および LAN 接続のWSの何れかです。 WSについては、通信条件と漢字コードも設定します。	119
2.Delete	登録済みの装置を削除します。	127
3.Event	WS のログインスクリプトおよびイベントスクリプトの設定をします。	129
4.Device Information	装置の設置場所とコメントを設定します。	134
5.Control Configuration	出力制御情報を変更します。	138
6.Change Of Group	出力グループ情報を変更します。	141
7.Exit	メインメニューに戻ります。	

(1) コンピュータの接続設定

(A) シリアル接続PCの接続

シリアル接続PCの接続設定方法について示します。

新規登録する場合は、未登録 (None)の Connection Device 番号を選択し、接続設定メニューで [1.Add]を選択してください。

```
Select Connection Device No.
MT Agent>4

-----
Connection Device No.4
-----

Connection Device Menu
1.Add
2.Delete
3.Event
4.Device Information
5.Control Configuration
6.Change Of Group
7.Exit
MT Agent>1
```

[1.PC(SERIAL)] を選択すると、装置名の入力モードになります。

```
-----
Connection Device No.4
-----

Select Type.
1.PC(SERIAL)
2.WS(SERIAL)
3.OTHER
4.Exit
MT Agent>1

-----
Connection Device No.4
-----

Input Device Name.
MT Agent>
```

装置名が設定されると、接続装置の一覧が表示されますので、
装置情報が正しく登録されていることを確認してください。

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Input Device Name.  
MT Agent>PC2  
OK
```

```
Connection Device  
1:PC1(PC-SERIAL)  
4:PC2(PC-SERIAL)  
Location :  
Comment :  
On Delay Time :0(Sec)  
Off Delay Time :120(Sec)  
Shutdown Delay Time :0(Sec)  
Group No. :4  
Select Connection Device No.  
MT Agent>
```

(B) シリアル接続WSの接続

シリアル接続WSの接続設定方法について示します。

新規登録する場合は、未登録 (None) の番号を選択し、接続設定メニューで [1.Add] を選択してください。

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Type.  
1.PC(SERIAL)  
2.WS(SERIAL)  
3.OTHER  
4.Exit  
MT Agent>2  
  
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Input Device Name.  
MT Agent>
```

[2.WS(SERIAL)] を選択すると、装置名の入力モードになります。

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Input Device Name.  
MT Agent>WS2
```

装置名、通信速度、データビット長、フロー制御、パリティ、ストップビット長、漢字コードの順に入力がうながされます。装置名以外は、すべて選択式ですので、該当する選択肢の番号を入力してください。

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Baud Rate.  
1.1200bps  
2.2400bps  
3.4800bps  
4.9600bps  
5.19200bps  
MT Agent>4
```

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Data Bit.  
1.8bit  
2.7bit  
3.6bit  
4.5bit  
5.4bit  
MT Agent>1
```

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Flow.  
1.None  
2.Hardware  
3.Xon/Xoff  
MT Agent>1
```

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Parity.  
1.None  
2.Even  
3.Odd  
4.Mark  
5.Space  
MT Agent>1
```

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Stop bit.  
1. 1  
2. 1.5  
3. 2  
MT Agent>1
```

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Kanji Code.  
1.SHIFT JIS  
2.JIS  
3.EUC  
4.UNICODE  
MT Agent>1
```

漢字コードまで設定されると、接続装置の一覧が表示されますので、
装置情報が正しく登録されていることを確認してください。

```
Connection Device
1:PC1(PC-SERIAL)

}

4:WS2(WS-SERIAL)
Baud Rate :9600bps   Data Bit  :8bit   Flow  :None
Parity     :None     Stop Bit  :1
Kanji      :SHIFT JIS
Location   :
Comment    :
On Delay Time :0(Sec)
Off Delay Time :120(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.   :4

Select Connection Device No.
MT Agent>
```

(C) その他の装置の接続

その他の装置の接続設定方法について示します。

新規登録する場合は、未登録 (None) の Connection Device 番号を選択し、接続設定メニューで [1.Add] を選択してください。

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Select Type.  
1.PC(SERIAL)  
2.WS(SERIAL)  
3.OTHER  
4.Exit  
MT Agent>3  
  
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Input Device Name.  
MT Agent>
```

[3.OTHER] を選択すると、装置名の入力モードになります。

```
-----  
Connection Device No.4  
-----  
Input Device Name.  
MT Agent>ETC2
```

Web管理ツール以外のソフトウェアを利用した管理

装置名が設定されると、接続装置の一覧が表示されますので、装置情報が正しく登録されていることを確認してください。

```
Connection Device
 1:PC1(PC-SERIAL)
 4:ETC2(OTHER)
   Location          :
   Comment           :
   On Delay Time     :0(Sec)
   Off Delay Time    :120(Sec)
   Shutdown Delay Time :0(Sec)
   Group No.        :4
Select Connection Device No.
MT Agent>
```

(2) 装置の削除

接続可能な全ての装置が削除の対象となります。

装置の削除方法について示します。

削除したい装置の番号を選択し、接続設定メニューで [2.Delete] を選択してください。

```
Connection Device
1:PCI(PC-SERIAL)
Location          :
Comment          :
On Delay Time    :5(Sec)
Off Delay Time   :10(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.       :1
}

Select Connection Device No.
MT Agent>1
-----
Connection Device No.1
-----
Connection Device Menu
1.Add
2.Delete
3.Event
4.Device Information
5.Control Configuration
6.Change Of Group
7.Exit
MT Agent>2
```

削除確認で [1.Yes] を選択してください。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
Delete Device  
1.Yes  
2.No  
3.Exit  
MT Agent>1
```

削除が実行されると、接続装置の一覧が表示されますので、指定した装置が削除されていることを確認してください。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
Delete Device  
1.Yes  
2.No  
3.Exit  
MT Agent>1  
OK  
  
Connection Device  
1:None  
  
4:None  
  
Select Connection Device No.  
MT Agent>
```

(3) イベントの設定

シリアル接続のWSが対象となります。

(A) ログインスクリプトの設定

WSログインスクリプトの設定方法について示します。

イベント設定したいWSの番号を選択し、接続設定メニューで [3.Event] を選択してください。

```
Connection Device
1:WS1(W-SERIAL)
Baud Rate :9600bps   Data Bit :8bit   Flow :None
Parity    :None     Stop Bit :1
Kanji     :SHIFT JIS
Location  :
Comment   :
On Delay Time :5(Sec)
Off Delay Time :10(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.  :1
}

Select Connection Device No.
MT Agent>1

-----
Connection Device No.1
-----

Connection Device Menu
1.Add
2.Delete
3.Event
4.Device Information
5.Control Configuration
6.Change Of Group
7.Exit
MT Agent>3
```

スクリプトの選択メニューが表示されますので、[1.Login Script]を選択してください。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
Select Script.  
1.Login Script  
2.Event Script  
3.Exit  
MT Agent>1
```

現在の設定内容が表示されますので、編集したい行番号を選択してください。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
Login Script  
1 : retry=1  
2 : interval=30  
3 : timeout=30  
4 : wait=ogin:  
5 : send=<USER NAME>  
6 : wait=assword:  
7 : send=<PASSWORD>  
8 : wait=#  
Select Script Line Number.  
MT Agent>4  
Operation <a-key:add d-key:delete e-key:Exit >  
MT Agent>
```

追加の場合は、[a]を入力すると、ログインスクリプトの入力モードになります。入力したスクリプトHは、選択した行番号の後に挿入されます。

```
MT Agent>a
Input script.
MT Agent>wait=login:

-----
Connection Device No.1
-----
Login Script
1 : retry=1
2 : interval=30
3 : timeout=30
4 : wait=ogin:
5 : wait=login:
6 : send=<USER NAME>
7 : wait=assword:
8 : send=<PASSWORD>
9 : wait=#
Select Script Line Number.
MT Agent>
```

削除の場合は、[d]を入力すると指定した行が削除されます。

```
Select Script Line Number.
MT Agent>4
Operation          <a-key:add d-key:delete e-key:Exit >
MT Agent>d
OK delete script 4line.

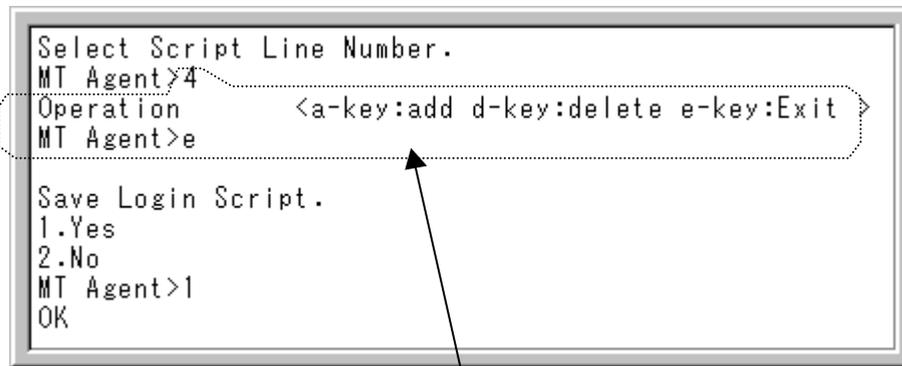
-----
Connection Device No.1
-----
Login Script
1 : retry=1
2 : interval=30
3 : timeout=30
4 : wait=login:
5 : send=<USER NAME>
6 : wait=assword:
7 : send=<PASSWORD>
8 : wait=#
Select Script Line Number.
MT Agent>
```

編集を終了するときは、[ESC]キーを押下してください。

または、有効な行番号を選択し、[e]を入力してください。

保存確認で [1.Yes] を選択すると、スクリプトが有効になります。

```
Select Script Line Number.  
MT Agent>4  
Operation      <a-key:add d-key:delete e-key:Exit >  
MT Agent>e  
  
Save Login Script.  
1.Yes  
2.No  
MT Agent>1  
OK
```



[ESC]キーを押下した場合は、
この部分は表示されません。

(B) イベントスクリプトの設定

スクリプトが設定可能なイベントは、以下の通りです。

1. 停電発生
2. 停電復旧
3. 故障発生 (軽、重故障共通)
4. 故障復旧 (軽、重故障共通)
5. 回復不能 (共通)
6. シャットダウン実行

イベントスクリプトの設定方法について示します。

イベント設定したいWSの番号を選択し、接続設定メニューで [3.Event] を選択してください。

スクリプトの選択メニューが表示されますので、 [2.Event Script] を選択してください。

スクリプトを編集するイベントを選択してください。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
Event Script  
1.Power Failure Occurred  
2.Power Failure Recovered  
3.Breakdown Occurred  
4.Breakdown Recovered  
5.System Will Be Stopped  
6.Shutdown  
  
Select event.  
MT Agent>
```

現在の設定内容が表示されますので、編集したい行番号を選択してください。

```
Select event.
MT Agent>1

Event Script
 1 : send=echo Power failure occurred.System will
be stopped after %STOP_TIME_S%sec. and
%STOP_TIME_M%min. |wall
 2 : sleep=5
Select Script Line Number.
MT Agent>2
```

追加の場合は、[a]を入力すると、ログインスクリプトの入力モードになります。入力したスクリプトは、選択した行番号の後に挿入されます。

```
Operation      <a-key:add d-key:delete e-key:Exit>
MT Agent>a
Input script.
MT Agent>sleep=10
Event Script
 1 : send=echo Power failure occurred.System will
be stopped after %STOP_TIME_S%sec.and
%STOP_TIME_M%min. |wall
 2 : sleep=5
 3 : sleep=10
Select Script Line Number.
MT Agent>
```

削除の場合は、[d]を入力すると指定した行が削除されます。

```
Select Script Line Number.
MT Agent>2
Operation      <a-key:add d-key:delete e-key:Exit>
MT Agent>d
OK delete script 2line.
Event Script
 1 : send=echo Power failure occurred.System will
be stopped after %STOP_TIME_S%sec.and
%STOP_TIME_M%min. |wall
 2 : sleep=10
Select Script Line Number.
MT Agent>
```

Web管理ツール以外のソフトウェアを利用した管理

編集を終了するときは、[ESC]キーを押下してください。
または、有効な行番号を選択し、[e]を入力してください。
保存確認で [1.Yes] を選択すると、スクリプトが有効になります。

(4) 装置情報の設定

接続可能な全ての装置が設定対象となります。

装置情報の設定方法について示します。

設定したい装置の番号を選択し、接続設定メニューで [4.Device Information]を選択してください。

```
Connection Device
1:PCI(PC-SERIAL)
Location          :
Comment          :
On Delay Time    :0(Sec)
Off Delay Time   :120(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.        :1
}

Select Connection Device No.
MT Agent>1

-----
Connection Device No.1
-----
Connection Device Menu
1.Add
2.Delete
3.Event
4.Device Information
5.Control Configuration
6.Change Of Group
7.Exit
MT Agent>4
```

[1.Location]を選択すると、設置場所の入力モードになります。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
1.Location  
2.Comment  
3.Exit  
MT Agent>1  
Input Location.  
MT Agent>Labo
```

[2.Comment]を選択すると、コメントの入力モードになります。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
1.Location  
2.Comment  
3.Exit  
MT Agent>2  
Input Comment.  
MT Agent>ForTest
```

設置場所とコメント、何れの場合も設定されると、接続装置の一覧が表示されますので、装置情報が正しく登録されていることを確認してください。

(5) 出力制御情報の設定

出力制御情報の設定方法について示します。

設定したい装置の番号を選択し、接続設定メニューで [5.Control Configuration]を選択してください。

```
Connection Device
1:PCI(PC-SERIAL)
Location          :
Comment           :
On Delay Time     :0(Sec)
Off Delay Time    :120(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.         :1
```

```
}
Select Connection Device No.
MT Agent>1
-----
Connection Device No.1
-----
Connection Device Menu
1.Add
2.Delete
3.Event
4.Device Information
5.Control Configuration
6.Change Of Group
7.Exit
MT Agent>5
```

出力制御情報の設定メニューが表示されます。

```
-----
Connection Device No.1
-----
1.On Delay Time
2.Off Delay Time
3.Shutdown Delay Time
4.Exit
MT Agent>
```

[1.On Delay Time]を選択すると、出力オン遅延時間の入力モードになります。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
1.On Delay Time  
2.Off Delay Time  
3.Shutdown Delay Time  
4.Exit  
MT Agent>1  
  
Input On Delay Time.  
MT Agent>10  
OK
```

[2.Off Delay Time]を選択すると、出力オフ遅延時間の入力モードになります。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
1.On Delay Time  
2.Off Delay Time  
3.Shutdown Delay Time  
4.Exit  
MT Agent>2  
  
Input Off Delay Time.  
MT Agent>10  
OK
```

[3.Shutdown Delay Time]を選択すると、シャットダウン遅延時間の入力モードになります。

```
-----  
Connection Device No.1  
-----  
1.On Delay Time  
2.Off Delay Time  
3.Shutdown Delay Time  
4.Exit  
MT Agent>3  
  
Input Shutdown Delay Time.  
MT Agent>10  
OK
```

(6) 出力グループの変更

出力コンセントに対する出力グループの関連付けの変更方法について示します。

出力グループを変更したい装置の番号を選択し、接続設定メニューで [6.Change Of Group]を選択してください。

```
Connection Device
1:PCI(PC-SERIAL)
Location           :
Comment            :
On Delay Time      :0(Sec)
Off Delay Time     :120(Sec)
Shutdown Delay Time :0(Sec)
Group No.          :1
```

```
}
Select Connection Device No.
MT Agent>1
-----
Connection Device No.1
-----
Connection Device Menu
1.Add
2.Delete
3.Event
4.Device Information
5.Control Configuration
6.Change Of Group
7.Exit
MT Agent>6
```

出力グループ番号を入力してください。

```
Input Group No.
MT Agent>1
OK
```

5.3.9 イベント設定メニュー

メインメニューより[7.Event]を選択すると以下のようなメニューが表示されます。



メニュー項目の内容を以下に示します。

イベント設定メニュー	内容	参照ページ
1.Event Log	イベントログの採取条件を設定します。	143
3.Exit	メインメニューに戻ります。	

(1) Event Log の設定

イベントログの設定方法について示します。

イベント設定メニューから [1.Event Log]を選択してください。

```
Event Menu
1.Event Log
2.Exit
MT Agent>1

Select No.
1.Default
2.All
3.Exit
MT Agent>
```

「1.Default」を選択すると、ログの採取条件を初期設定に戻すことができます。

```
Select No.
1.Default
2.All
3.Exit
MT Agent>1
OK
```

「2.All」を選択すると、ログ採取可能な全てのイベントについてログの採取を有効に設定できます。

```
Select No.  
1.Default  
2.All  
3.Exit  
MT Agent>2  
OK
```

情報

イベント毎に任意の設定を行いたい場合は、システム管理ツールまたはWeb管理ツールにより設定してください。

5.3.10 出力グループ情報設定メニュー

メインメニューより[8.Group]を選択すると、現在の出力グループ情報が表示されます。

```

Group Information

1:group1
  Outlet                :1
  Comment               :
  Condition Of Outlet At Main Power On :Power On

2:None

3:None

4:None

Select Group No.
MT Agent>
    
```

出力グループ番号を選択すると、以下のような接続設定メニューが表示されます。

```

-----
Group No.1
-----
Select No.
1.Group Name
2.Comment
3.Condition Of Outlet At Main Power On
4.Exit
MT Agent>
    
```

メニュー項目の内容を以下に示します。

出力グループ情報 設定メニュー	内容	参照ページ
1.Group Name	出力グループ名を設定します。	146
2.Comment	出力グループに対するコメントを設定します。	147
3.Condition Of Outlet At Power On	主電源投入時の自動投入条件を設定します。	148
4.Exit	メインメニューに戻ります。	

(1) 出力グループ名の設定

出力グループ名の設定方法について示します。

出力グループ情報設定メニューから [1. Group Name]を選択し、出力グループ名を入力して下さい。

```
-----  
Group No.1  
-----  
Select No.  
1.Group Name  
2.Comment  
3.Condition Of Outlet At Main Power On  
4.Exit  
MT Agent>1  
  
Input Group Name.  
MT Agent>group1  
OK
```

設定後は、設定内容が表示されますので、入力した出力グループ名が正しく登録されていることを確認してください。

(2) コメントの設定

出カグループに対するコメントの設定方法について示します。

出カグループ情報設定メニューから [2. Comment]を選択し、コメント内容を入力して下さい。

```
-----  
Group No.1  
-----  
Select No.  
1.Group Name  
2.Comment  
3.Condition Of Outlet At Main Power On  
4.Exit  
MT Agent>2  
  
Input Comment.  
MT Agent>ForTest  
OK
```

設定後は、設定内容が表示されますので、入力したコメントが正しく登録されていることを確認してください。

(3) 主電源投入時の起動条件の設定

主電源投入時の起動条件の設定方法について示します。

出力グループ情報設定メニューから [3. Condition Of Outlet At Main Power On] を選択します。

```
-----  
Group No.1  
-----  
Select No.  
1.Group Name  
2.Comment  
3.Condition Of Outlet At Main Power On  
4.Exit  
MT Agent>3
```

主電源投入時、自動起動しない場合には [1.Power Off] を選択します。

```
Select No.  
1.Power Off  
2.Power On  
3.Exit  
MT Agent>1  
OK
```

主電源投入時、自動起動する場合には [2.Power On] を選択します。

```
Select No.  
1.Power Off  
2.Power On  
3.Exit  
MT Agent>2  
OK
```

設定後は、設定内容が表示されますので、設定した主電源投入時の自動起動条件が正しく登録されていることを確認してください。

5.4 Telnet 端末

通常、Web-tap の初期設定時以外に使用する必要はありません。

使用できる機能は「5.3 シリアル端末」と同じですが、ネットワークアクセスのため、接続時に管理者の認証を行いません。

- (1) PCのコマンドプロンプトウィンドウから以下のコマンドを実行して Telnet プログラムを起動してください。

telnet **Web-tap アドレス**

例) 初期設定状態の Web-tap に接続する場合

```
C:\WINNT>telnet 192.168.1.1
```

- (2) Web-tap との接続に成功すると、Telnet 画面に以下のようにユーザ認証のメッセージが表示されます。メッセージにしたがってユーザ名およびパスワードを入力してください。なおパスワードは画面に表示されません。

```
Welcome to MT Agent.  
User name:
```

注意

出荷時のアカウントは

ユーザ名: **MtAdmin** (大文字小文字を区別しません)

パスワード: **MtAdmin** (大文字小文字を区別します)

となっております。

- (3) ユーザ認証に成功した場合は、メインメニューが表示されます。以後の内容は「5.3 シリアル端末」と同じです。

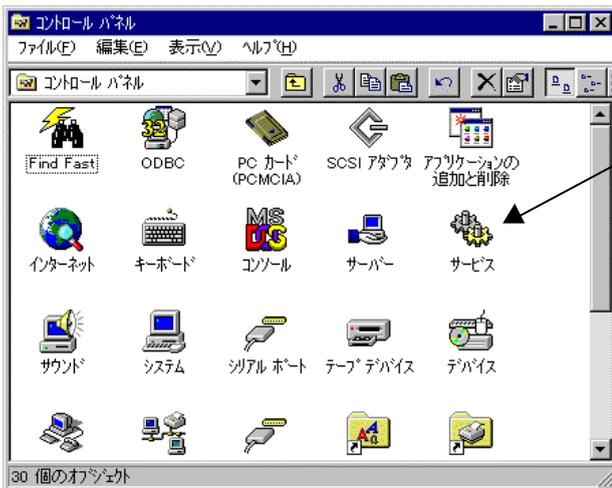
付録 A サービスの操作

スタート ボタンをクリック

設定 (S) メニューをクリック

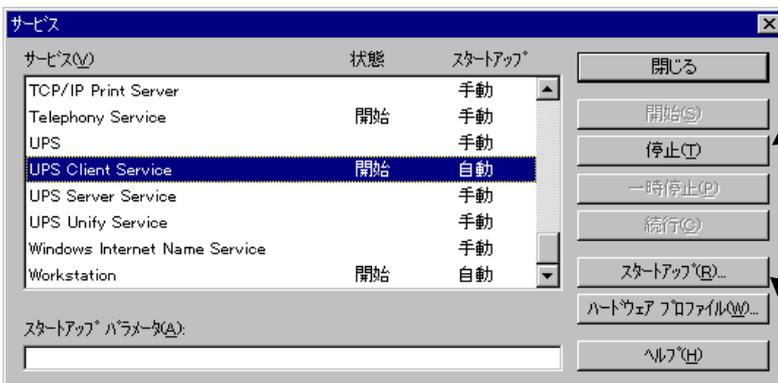
コントロールパネル (S) メニューをクリック

以上で、「コントロール パネル」が表示されますので、「サービス」をクリックしてください。



サービスを
ダブルクリック

サービス画面が表示されます。

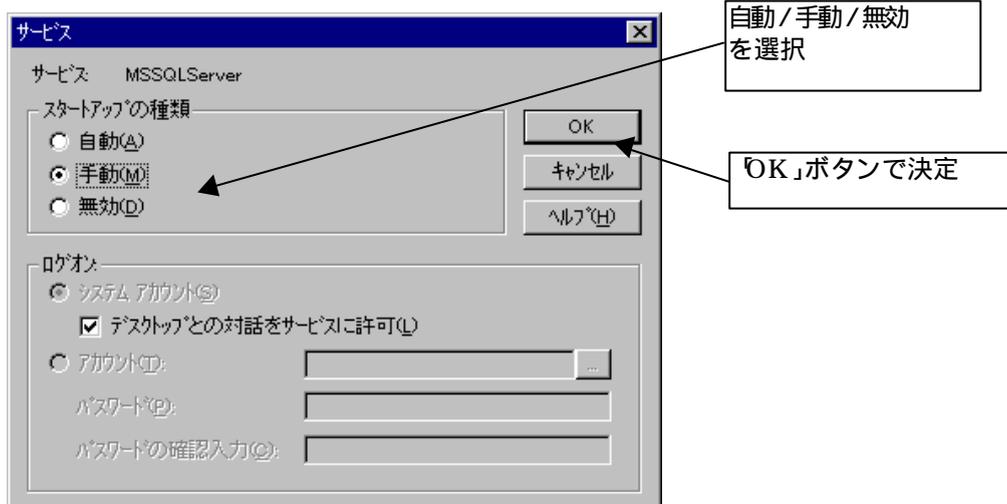


起動/停止
操作

スタートアップタイプの変
更

停止」/「起動」ボタンで、起動、停止操作ができます。

スタートアップ」 ボタンをクリックすると、次ページに示すスタートアップ変更ウインドウが表示されます。



スタートアップの種類を選択して、「OK」ボタンで決定します。

「自動」に設定すれば、WindowsNT が立ち上がった段階で、自動的にプログラムが起動します。（ログインしなくても、バックグラウンドで走ります）

「手動」に設定すれば、自動的にプログラムが起動しませんが、前ページの、起動、停止操作ができます。

付録 B こんな時には

やりたいこと	関連ページ	備考
ネットワーク経由で設定・制御を行う場合		
IP アドレスを設定する	12,52,89	デフォルトは 192.168.1.1
Web ブラウザを使用する	38	
Telnet を使用する	149	
ターミナルソフトから設定・制御を行う場合	84	
Web-tap に接続装置を登録する場合	47,117	
コンピュータをシャットダウンしたい		Web-tap のみ
Windows NT をシャットダウンする場合	19	
Windows 2000 をシャットダウンする場合	22	
Windows 95/98 をシャットダウンする場合	25	
NetWare をシャットダウンする場合	27	
UNIX をシャットダウンする場合	29	
出力の制御を行う場合		
出力のオン/オフの際ディレイさせたい	51	
Web-tap の電源が入った時に出力をオフのままにしたい	57	
使用しないコンセントを未使用にしたい	49	
コンセントをグループ化して制御したい	56	
UPS と連携して使用する場合		
UPS のシリアルインタフェースと接続する	54,92	
UPS の接点信号出力と接続する	54,92	
停電確認時間を設定する	54,92	
出力オフ遅延時間を設定する	51,138	
商用が停電したら UPS を停止し、復電したら自動的に UPS が運転するようにしたい	8,54,92	
停電時 UPS を停止したくないが、商用が復電したら自動的に Web-tap の出力をオンしてコンピュータを自動立ち上げしたい	9,54,92	
1台の UPS に複数の Web-tap を接続したい	36	
UPS の状態も監視したい	81,113	UPS とシリアル接続されていること
スケジュール機能を使用する場合	59,100	
WS にメッセージを表示する場合	71,133	
イベントログを見る場合	80,115	
SNMP マネージャを使用する場合	69,82,94	
アカウント、パスワードを変更する場合	55,91	
時計設定を行う場合	55,116	
Web-tap の MAC アドレスを見る場合	114	